



ガバナー提言
愛「人類愛・郷土愛・家族愛」

2R

LIONS CLUB FUKUOKA 2R

No.108

2009 SUMMER

特集『明日のライオンズを考える』

Part I ライオンズクラブのPR活動を考える

- ◇参加者◇ L.中村 洋人 前地区キャビネット幹事/元2R PR委員
L.本多 弘 前地区PR・IT・ザラタ編集委員長
園田 哲也氏 九州朝日放送㈱テレビ営業局営業部部长
中曾根竜也氏 ㈱電通九州・メディア局テレビ部長兼ダイレクトマーケティング局ダイレクトマーケティング部長
◆司 会◆ L.徳永修一郎 PR・IT・ザラタ編集委員

Part II 提言集

- 「若輩ライオンが変革を掲げてガバナーに臨む」 川口LC L.大野元裕
「ライオンズクエストなんて…」と言う前に。 敦賀みなとLC L.清水直喜
縦割り、横割り、やがて円形社会へ 福岡NOZLC L.鹿島紀夫
ライオンズクラブ入会四年目にして思うこと 福岡NOZLC L.三嶋清忠
ライオンズクラブに思う事 福岡NOZLC L.久芳恵子
「青年アカデミーなんて…」と言う前に。 福岡大名LC L.徳永修一郎
『尊敬』される奉仕と『親しまれる』紳士(淑女)集団を目指そう!! 福岡舞鶴LC L.橋山義博

第4回 2Rライオンズクラブ会員1,000名アンケート
意識調査結果報告!

新入会員紹介!
今回7名入会!(今期累計69名)



contents

巻頭言

2R・4Z・ZC L.近藤 幸成 OI

特集 『明日のライオンズを考える』

PART I 意見交換会「ライオンズクラブのPR活動を考える」 02

◇参加者◇・前地区キャビネット幹事/元2R PR委員 L.中村洋人 ・前地区PR・IT・ザラタ編集委員長 L.本多 弘
・九州朝日放送㈱テレビ営業局営業部部长 園田 哲也 氏 ・㈱電通九州・メディア局テレビ部長兼ダイレクトマーケティング局ダイレクトマーケティング部長 中曽根竜也 氏
◆司 会◆ PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎

PART II 提言集 10

「若輩ライオンが変革を掲げてガバナーに臨む」	川口LC L.大野 元裕
「ライオンズクエストなんて…」と言う前に。	敦賀みなとLC L.清水 直喜
縦割り、横割り、やがて円形社会へ	福岡NOZLC L.鹿島 紀夫
ライオンズクラブ入会四年目にして思うこと	福岡NOZLC L.三嶋 清忠
ライオンズクラブに思う事	福岡NOZLC L.久芳 恵子
「青年アカデミーなんて…」と言う前に。	福岡大名LC L.徳永修一郎
『尊敬』される奉仕と『親しまれる』紳士(淑女)集団を目指そう!!	福岡舞鶴LC L.橋山 義博

交流ひろば

「結成四十周年記念式典をおえて」 福岡西LC L.森 修二	25	プロとアマチュアの違い 福岡玄海LC L.松永 俊彦	31	私の健康法 福岡大名LC L.牧園 雅充	36
相互理解と思いやり -メイヤヘルプユー- 福岡北LC L.光澤 智吉	25	ライオンズクラブに入会して 福岡誠LC L.井上 修造	32	入会一年を迎えて 福岡平和LC L.中林 秀雄 L.行徳 康弘	37
一所懸命な思い 福岡大濠LC L.小崎 弘之	26	第四回全国シニアフォーラムイン神戸に参加して 福岡シニアLC L.永井 光清	32	「最近ライオンズクラブに想うこと」 福岡黎明LC L.井上 福男	37
20周年の式典を終えて 福岡桜LC L.山本千鶴子	27	感 謝 福岡花LC L.高津 英子	33	会長になれるのか? 福岡ベイシティ2LC L.石川浩二郎	38
「持ち出し例会」報告 福岡黒田LC L.田中 雅美	28	「エコ」は地球を救う 福岡フィフティールC L.達木 純二	33	消防自動車贈呈「両国のきずな願い」 若杉福岡LC L.佐道 完之	38
ライオンズクラブ変革提唱 福岡NOZLC L.鳥谷 哲弘	28	ライオンズクラブに入会して 福岡フレンズLC L.中川 昌和	34	壱岐ライオンズクラブの行方は 『それでも頑張りたい!!』 壱岐LC L.末永 孝好	39
ここでコーヒーブレイクとして魚取り 福岡博愛LC L.広田 一孝	29	最近思うこと 福岡鶴城LC L.五十嵐 実	34	青少年健全育成支援 第三十一回ライオンズ旗争奪少年剣道大会 花鶴福岡LC L.伊東 政文	39
第四代会長就任に際し 【出会いを愛しみ、出会いを育み、奉仕を楽しむ!】 福岡大樹LC L.高崎 久男	30	福岡県身体障害者体育大会に参加して 福岡筑前LC L.小野 利喜	35	「ライオンズが造る安全社会」 宗像LC L.白木源治朗	40
「幹事を経験して良かった」 福岡舞鶴LC L.島田 光子	30	LCに入会して 福岡赤坂LC L.竹下 典子	35		
「青少年健全育成」アクト 「福岡城東ライオンズクラブ旗争奪少年野球大会」 福岡城東LC L.太田 健一	31	ボランティアで子供達へMAGIC 福岡文化LC L.広庭 孝次	36		

337-A地区ライオンズクラブ分布図 41

第4回 2Rライオンズクラブ会員 1,000名アンケート 意識調査結果報告 42

卓話ゲスト紹介・スケジュール 44

新入会員紹介 46

編集後記



一年間の御礼

2R・4Z・ZC L.近藤 幸成

L原ガバナーのもとで一年間、2リジョン4ゾーンのゾーン・チエアパーソンを務めさせて頂きありがとうございました。

任期当初は、本当に私に務まるか不安でしたが無事終了することが出来ました。それもL小松リジョン・チエアパーソンをはじめ、1ゾーンから3ゾーンのゾーン・チエアパーソンの方々の暖かいご指導と4ゾーンの各クラブの会長、幹事、会計、会員、事務局みなさまのご協力のおかげだと感謝しております。

これからの私の人生の中で、この一年間の経験を生かし益々精進して行きたいと切に思っております。

一年間、本当にありがとうございました。

巻頭言

特集

『明日のライオンズを考える』

PART I

意見交換会

「ライオンズクラブのPR活動を考える」

平成二十一年六月二日 LC合同事務局にて

◇参加者◇

- ・前地区キャビネット幹事／元2R PR委員 L中村洋人
- ・前地区PR・IT・ザラタ編集委員長 L本多 弘
- ・九州朝日放送㈱テレビ営業局営業部部长 園田 哲也氏
- ・㈱電通九州・メディア局テレビ部長兼ダイレクトマーケティング局ダイレクトマーケティング部長 中曽根竜也氏
- ◆司会◆ PR・IT・ザラタ編集委員 L徳永修一郎

——皆さん、お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。ライオンズの活動をどうPRしていくかは「古くて新しい」問題ですが、会員減少に歯止めがかからない今日にあつては喫緊の課題であろうと思います。そこで、本日はPRのプロとして活躍中の園田さんと中曽根さん、そしてLCの中で長く、PRには造詣が深いといわれている中村、本多両ライオンに「ライオンズPRの未来へ向けた可能性」を中心テーマにいろいろとお伺いしたいと思います。

まず最初に、中村、本多両ライオンには現状のライオンズに対する認識をお尋ねします。先日も地区PR誌「ザラタ」が企画した新旧キャビネット幹部4人の座談会でも参加者にお尋ねしたのですが、私がインフルエンザの警戒レベルを模して勝手に作った「LCの会員減少に対する警戒レベル」をご覧いただき、フェーズ1〜6まででいかがでしょうか。ちなみに表を読み上げます。

- フェーズ1 地区の会員数に若干の変動はあるものの危惧するには至らない
- フェーズ2 徐々に地区の会員が減少しているが一過性のものと認識する
- フェーズ3 地区の会員の減少が例年続くようになる
- フェーズ4 長期に亘り（十年以上）地区の会員減少が慢性化して、歯止めがかからなくなる
- フェーズ5 組織運営やアクティビティに支障を来している地区内単一クラブが全体の三十%を超える。
- フェーズ6 地区を超え、退会者が続出し、同時多発的に多くのクラブが消滅する（ミニクラブ解散のパンデミック）

L中村 フェーズ3にしましょうか。

L本多 私も今のところはフェーズ3ぐらいでしようね。

——ありがとうございます。真ん中ぐらいで、これからどっちに転ぶかというご認識ですね。続きまして、㈱電通九州よりご好意で提供いただきましたLCのテレビCMの試作品を観ていただきたいと思います。

【テレビで二種類の試作品（コマーシャル）視聴】

——これをご覧になって、お二方にはどのような感想をお持ちでしょうか。

L中村 LCのPRとしては素晴らしいものがありますね。ただ、会員増強にどう結びつけるかという問題がある。PRするというのは（会員増強の）下



左手前よりL 本多、L 中村、L 徳永、園田部長、中曽根部長

心があるわけですから、招請によつてのみ（会員の）入会を認めるといふLCの前提と相反するところもある。その辺の兼ね合いは難しいですね。

L 本多 僕らが今までやってきたPRは主に会員同士のコミュニケーションや交流が目的。やはり会員一人ひとりをもっとライオンズを（外に向けて）PRする必要はある。普段の口コミが効果あると思いますね。こういうスポット広告も重要でしょうが、まずは労力アクティビティでも単一クラブではなく、

ゾーン単位ぐらいで企画して、市民の中にどんどん飛び込み、行動してPRした方がいいという気がします。

——次に、データを元にさらにお二人にお尋ねします。この資料も電通九州にご提供いただいたのですが、ポイントとしては、直近の十年間にNPO組織が爆発的に増殖し、それに連れて、LCやRC（ロータリークラブ）の存在が希薄になってきていることです。

NPO組織は全国で千三百六十四団体だったものが三万六千五百五十一団体と二十六倍にも増えた。一方、ノンライオン二百四十人に対するサンプル調査によると、LCに対するイメージを基本的に誤認されている方が多く、いまだにプロ野球やマンシヨンのライオンズと混同されている方もいた。それでもアクティビティの認知をした瞬間にライオンズに対する理解度と好感度が大きく増すという結果も出ています。

日本のライオンズの会員はピーク時に十七万人弱いたものが、今は十一万人台で三十三%も減少。地区でも今期は、四千八百人が四千六百人まで減少する予測も出ています。

この現状を踏まえて、PR委員会では「ふくおか2R」誌上で、2Rの会員に対してPRに関する意識調査をしました。その結果、多くのライオンがノンライオンに対するPRの重要性を認識し、また最も大きな効果をもたらすと考えられるテレビCMに関しても、個人負担の抛出も含めて一定の賛意を示しておられます。

そこで、最初にお聞きしたいのが、この2Rアンケートをどう思われますか。我々は例えば、帰属意識や組織、PR、アクティビティ問題などについて、発言の機会が少ない会員に本音を出してもらうことで、参加意識を高め「無関心」からの脱却を図ることを目的にしています。

L 中村 まず前段で触れられたことですが、私はNPOとLCは全然異質なものと思っています。LCはいろんなことについて奉仕をする「奉仕のデパート」で、NPOは一つのことのために奉仕する団体。また、向こうはだれでも入れる。こちらは入会が招請のみ。比較するのはちよつと無理があると思う。ただ、NPOがあれだけ増えたということは、奉仕社会の構築を目指してきたLCの効果、公共性やボランティア精神の普及を唱えてきたLCの存在が活きた証でもあると思う。

そこで、アンケートに対してですが、意識調査自体はいいと思いますが、非常

にいいところと、そこまで調査せんでもいいと思うところもある。特にお金に
関するアンケートはどうか。お金は必要なものは必要だし、何をやるにもお
金がある。お金による奉仕も大事。世界中から尊敬されているのはそのためだ
し、本当は金持ちでないと、(十分な) 奉仕はできないと思いますよ。

■本多 他の奉仕団体は大体一つの事に取り組んでおられる。それが地域の
方々に理解が得られることに繋がっているが、LCはもつと高い立場から必要
なことをやっている。ライオンズの単一クラブの方がよくやっているとしま
す。それからアンケートを取ることは皆さんのご意見を聞くために必要だと
思っています。

——原ガバナーは言わ
れました。各テーマにつ
いての意識調査は重要だ
が、その前段階でしっか
りとした議論をすること
が重要だ。それがあって
はじめて、意識調査の結
果が(施策に)反映できる
と。そこで議論の仕方
になるのですが、LCの会
議でも議事進行する人が
一人でしゃべって、終
わってしまうことが多い
と思うのですが、もつと
自分の思うことが議論で
きる場が必要とは思わ
れませんか。

■本多 私は五十五歳
で入会し、二十数年にな
りますが、当時は何でも
先輩の意見で決まってい
ました。これからは
ベテランと若い人との



デイスカッションの場も必要です。
■中村 少しテーマをPRに絞って話を進めます。PRの面から言えば、LC
は国際平和に貢献しています。これもPRして理解を深めてもらうことが必
要です。また、奉仕社会のために頑張っているというようなこともPRしてほ
しいですね。そして、それは即、会員への教育にもなる。会員の中にはLC関
係の書類を会社や家に送ってくれるな、という人もいます。もつと会員であるこ
との自覚を高めてほしいですね。
私は今、外部に向けては全然、PRしていないと思う。今のPR誌は会員向
けの内々のもの。誰に向けて発行するのかをきちつと定め、内容を改めて発行
すべきと思う。そして、それ
は2Rだけの問題ではなく、
地区もつと言えば日本全体の
問題。テレビCMも流すとす
れば、準地区ぐらいの範囲で
周年行事や記念事業などで協
力してもらってやればいい。
(試作品が取り上げていた)
ヘレンケラーは(題材として)
ちよつと古いけど……。もつ
と新しいテーマもあるでしょ
う。

中曽根竜也 (昭和 39 年生 45 歳)
株式会社九州メディア局テレビ部長兼ダイレク
トマーケティング局ダイレクトマーケティング部長
職歴
昭和62年株式会社マックカンエリクソン博報堂(現マ
ックカンエリクソン)入社。平成8年同社退社後、株
電通九州入社。営業局、メディア局、新聞雑誌部長
を経て、現在に至る。

園田哲也 (昭和 38 年生 45 歳)
九州朝日放送株式会社テレビ営業部長
職歴
昭和61年アナウンサーとして九州朝日放送株
入社。深夜情報番組「ドォーモ」の初代リポーター
や朝ワイド「モーニング・モーニング」のキャ
スター等を担当。平成11年ラジオ「長谷川ひろ
し・おはようセブン」ディレクター。東京支社
ラジオ部を経て、同18年より現職。

——CSF IIにしても世界
で二百億円近く、日本でも六
十億円ですか。こんなすごい
奉仕をしているのはLCくら
いのもの。世界最大の奉仕団
体を周知徹底しないといけま
せんね。
■中村 旧ソ連から来福、
福岡大学で未熟児網膜症の手
術を受けたドミトリーちゃん
への支援も新聞にちよつと

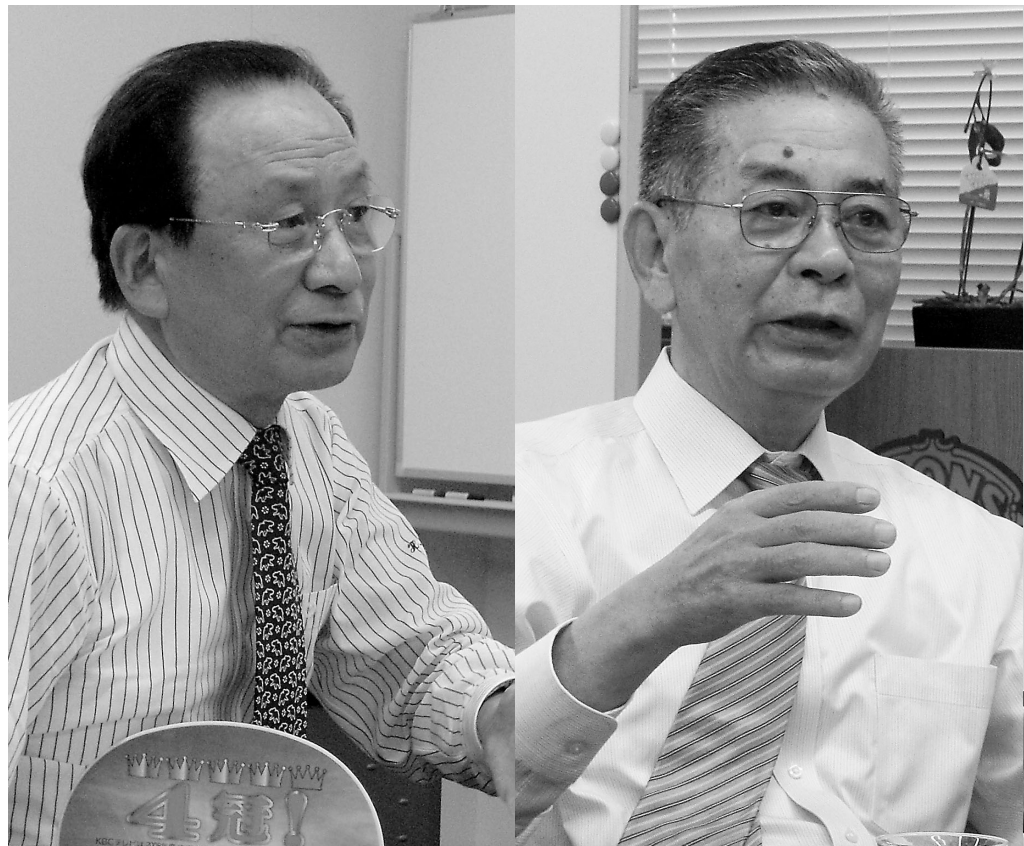
出るだけ。あんなことはニュースで流してもらおうとか、コマーシャルでもいいからPRすべきでしょうね。福岡西方沖地震でも日本ライオンズが相当多額の支援をした。もっとPRしてもいい。

—— 今期、準地区で二十一クラブが周年行事だけで八千万円ぐらい集め、大体、CSF IIに二十五%、地方公共団体施設に五十%、盲導犬と青少年育成支援に二十五%使ったということ。こんなこと出来るのはLCぐらいしかないのに、一般の人は知らない。昔は新聞記者なんかの縁故を頼って取り上げてもらっていたようなんです。テレビCMの前に、もっと

そういうことをやれという意見もあります。すごく大きいアクティビティなら呼ばなくてもマスコミも取り上げてくれるのでしょうが……。

中曽根 しかし、記事や放映によるPRと広告は全く違うということを知っておいてほしいと思います。たとえ縁故などを頼って記事を書いてもらったにしても、記事はこちら側の意図をわからないで書かれ、こちらの思う通りにならないことが多い。これに対して、広告はこちら側の意図を十分に込めて、コントロールしながら情報提供できる。これが決定的に違います。

L中村 (広告に) 金を使わんといかんということですね(笑)
中曽根 今回、私どもが調査して分かったことは、一般の方々のLCに対す



L.本多 弘 (昭和7年生 76歳)
前地区PR・IT・ザラタ編集委員長 (福岡鶴城LC)
ライオン歴
昭和62年福岡鶴城LC入会。平成5年幹事。同11年会長。同12年地区PR委員。同15年7R・3Z・ZC。同18年2R・RC。同19年地区PR・IT・ザラタ編集委員長。

L.中村洋人 (昭和15年生 68歳)
前キャビネット幹事 (福岡黒田LC)
ライオン歴
平成2年福岡黒田LC入会。同5年幹事。同10年会長。同11年地区PR・ザラタ委員。同12年地区キャビネット副幹事。同13年地区指導力育成・会則・大会参加委員長。同17年地区2R・1Z・ZC。同18年地区ライオンズ情報・指導力育成・大会参加委員長。同19年地区キャビネット幹事及び複合地区ガバナー協議会事務運営委員長。

る認識にはかなりの事実誤認があるということです。だからテレビCMを流す一番の目的は、事実誤認を訂正し、(誤解を) 払拭していただく。そして、新しく正しいイメージを醸成し、ひいては会員減少に歯止めをかけ、会員を増やしていた、ということです。また、インナー対策にもなると思います。会員の皆様が誇りを持ち、活性化できる。大きくはそういうところに目標を据えて考えていただくと思います。

園田 ちょっと調べてみましたところ、地元紙を含め日刊紙六紙に過去一年間にLCの名称が出てくる新聞記事は七百十一件ありました。しかし、地方版いわゆるローカルのベタ記事がほとんどでした。しかも、どのクラブがいく

ら寄付したといった記述のみで、結果としてLCの高潔な精神や思想はまったく伝わっていないように感じられました。新聞やテレビのニュースに取り上げてもらえば、ただでPRできるから得たというような単純な話ではないのではないのでしょうか。「宣伝・広告」は、伝えたいメッセージをターゲットに的確に伝えるものです。

ちなみに、テレビのニュースでLCがどの程度出てくるかを、NHKと弊社(KBC)で調べたところ、過去一年間ではゼロ件でした。

—— 外に向かってPR活動をしなければならぬことは間違いありません。そうすれば、会員も自然と増えるでしょう。また、お金を使う広告か、お金を

使わない取材か、というような単純な話でもないこともよく分かりました。

園田 先ほど中村さんが「会社や家族に内緒でLC活動している方がいる」と仰いましたが、寂しいですし、非常に悲しいことですね。こうした状況だけは打破しなければいけないと思います。LC活動は非常に素晴らしいことですが、同時に会社や家族の方々も誇りに思ってもらえるような環境づくりが必要なのではないでしょうか。

L中村 さっき言ったのはほんの一例で、ほとんどの方は本来のボランティア精神で頑張っておられます。私が言いたいのは、会員の皆様にもう少し誇りを持ってもらいたいということです。その意味で、もっとPRしてもいいということです。逆にライオンズの会員でライオンズを批判する人がいる。もつてのほかです、止めてもらいたいですね。私はだれでも入会させればいいとは思いません。正当なボランティア精神を持った質の良い会員を増やしたいと願っています。LCはMassiveの精神を愛する集団であってほしいと思つています。いいじゃないですか、会員が(多少は)少なくなっても、ミニクラブ化すると心配する人もいるけど、そうなれば、それで考えればいい。合併でもなんでも工夫すればいい。せつかく先輩たちが作ってくれた組織ですから。

——存在自体は素晴らしい組織ですから、皆さんにLCを好きになってほしいですね。帰属意識を高めてほしいと思つています。

L中村 十七万人が十万人になっても八万人になつてもいいじゃないですか。ライオンズ精神は世界に通用するものですから。

L本多 同感です。私が一番勉強になったのは、人とのつながりです。いい仲間がいる。若くても世界的に成功された人もいる。そういう方のご意見を聞くこともできました。これがLCに入会して一番良かったことです。

——せつかくPRのプロがお出でになつているので、もっと園田さん和中曾根さんのご意見を聞きたいですね。

園田 例外的ということではありましたが、会社や家族に内緒に活動されている会員など一人も生まないで済む環境をつくるためにも、広告の一つの手法だと思えます。我々はこんな奉仕をしているというメッセージとともに、何故そのボランティアが必要なのかという背景を伝えることも大切です。ボランティア精神にあふれた社会実現の大きな啓蒙にもなるし、会員以外の共感も高まるのではないのでしょうか。

——テレビCMについては、賛成、反対が半々あります。少し紹介しますと、

賛成派の意見としては：

「地域社会への絶大なPR効果や会員の誇りを取り戻す効果、会員の意識改革、職場や家庭への理解度促進、会員増強・退会防止等に効果を得られる」「最高の影響力だ」「もつといういろいろライオンズの内容や歴史を知っていれば、今よりも早く入会したかもしれない」「TVという視覚に訴えるPR方法には非常に強力な効果があります」などです。

反対派の意見としては：

「本当に会員増強・退会防止に効果があるのか」「PRの前に自分たちの意識改革が必要」「地域社会に認知されるアクティビティが出来ればマスコミは放つて置きません」「各クラブがプレス・リリースの作成方法等のPRの仕方を学ぶ等、やるべきことは多い」「確かに一人一万円は小さいが、合計すれば莫大な金額。一つの事業に注ぎ込めばどれだけのことが出来ますか。広告会社を儲けさせることはない」「ステータスか何かのためにPR活動することは、奉仕団体としては異常」「数千万円の資金を使うのであれば、もっとアカデミックな市民の関心を集める活動に、全部のクラブが、同日同時に取り組めば、それこそTV、新聞等のマスコミが集中して放送してくれるでしょう」「予算を計上してまで報道してもらうのは邪道」などです。

中曾根 反対派のご意見の中で気になりましたのは、先ほども言いましたが、PRと広告に対するお考えが混せこぜになっている感じです。現在でもかなり新聞等で取り上げられているのに事実誤認みたいなものがあるのは何故かと考えた時、それはこちら側が意図したことが計画的に露出、発信されていないということだと思います。まさにPRというのは相手側、つまりマスコミの側に主体があつて、こちら側からのコントロールは基本的にできないということです。そこが広告とは全く別のもので、私は今、LCが取られるべき施策の一つは広告の方じゃないかと思えます。PRが無駄だとか、必要ないというのではありません。現状では補足的に考えられた方がいいということですね。

それに賛成派の方のご意見にもありましたが、テレビCMは視覚に訴えるものですから、スポットが十五秒でも三十秒でも同じで、言えることはたった一つです。だからCMを作る上では、ワンテーマあるいはシングルメッセージと同じパターンでお金をかけずに、いくつか別のバージョンで作られることをお勧めします。それを一つのバージョンの認知が進んだら、次のステップとして別の素材に切り替えるというようにすれば効果的だと思います。



右端、櫛電通九州内での、テレビCM打ち合わせで説明を受けるL山田 修クラブPR委員長（福岡赤坂LC）

——それに、テーマにしてもこつちが発信したいことと、聴き手が知りた
ことが違うこともありませぬね。

中曽根 私はLCに対する正しいイメージを醸成させるような活動を計画的
に発信する方がいいと思っています。

L中村 費用がどれくらいかかるか分かりませんが、単一クラブの事業とし
て取り組むこともできませんね。

——私としては、コマースシャルするなら「二〇一二年の」フォーラムとの連
動もあり」と思っています。

中曽根 それから、

これはどのお客様に
もお話していますが、
広告を出しただけで、
一つの問題が解決する
とは思わないでほしい
ということですよ。まず
やるべき活動をきちん
とやり、口コミなどに
も力を入れて、その上
で広告を全体の潤滑油
と位置つけてほしいと
思います。

L中村 ネーミング

（の良し悪し）は影響
力が大きい。LCだっ
たら名前と紋章だけコ
マースシャル流しても効
果があると思うよ。そ
れなら十秒で済む。

——ここで一番問題
となるのは、広告の費
用をだれが、どう負担
するかということです。

数千万円の単位になるから、そんな金があるならアクティビティに使えるとい
う考えも当然ある。しかし、LCが一般の方々にとこまで誤認されていることを
知らない会員が多い。もし、知った場合はどうなるか。広告でPRして我々の
意識も外の意識も高めようとの意見も出て、費用についての議論もできると思
います。現在、地区には数千万円の緊急援助基金があります。前キャビネット
幹事の中村さんに、怒られることを承知でお尋ねします。この基金を使えば広
告は出せるのですが、仮にもそのような可能性はありませんか。

L中村 PRとアクティビティは違うし、その基金を使うのは問題がある。LC
を正しく認識してもらうことと、奉仕の支援は別と思います。ごっちゃにした
らいかん。でも各クラブが周年行事に使う資金を少しずつ拠出してもらって、
PRの資金に充てることは出来るかもしれませんね。

園田 先ほどから費用対効果という話も出ていますが、効果に関して誰もが
納得する指標というのはなかなか難しいものです。広告を出すことについて慎
重な方もいらっしゃるでしょう。PRも広告もどちらも必要ではないでしょう
か。ただ、広告にはお金がかかる。それなら、最初から大きな金額かけなくて
もいいし、長期間続けることもない。まずは可能な範囲で一回やってみて判断
するのも一つのやり方だと思えます。

中曽根 そして、もしテレビCMを考えられるのであれば、その目的はでき
るだけシンプルにされた方がいい。私ならLCへの誤認を修正してもらい、正
しく認識してもらうことに絞ります。それが会員減少問題の解決と会員のス
テータスとインセンティブ向上につながると思います。テレビは非常に有効な
手段だと思います。

L中村 （テレビCMをやるなら）まず単一クラブが単独か共同してやった方
が早いかな。やはり民主主義とボランティアにはある程度の無駄が必要という
ことでしょうかね。

——長時間に亘りありがとうございました。今後、LCとしてどうPRを展
開していけばいいのか、参考になる話がたくさん聞きました。会員の皆さんの
判断材料にもなったと思います。重ねてありがとうございました。

九州宣導大協会に
30万円を寄付
福岡北
福岡ライオンズ
クラブは十四日、
障害者施設を建
設する特定非営利活動法人「
つばさ少年少女合唱団」に、
30万円の寄付をした。
この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、

「つばさ少年少女合唱団」
の活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、

つばさ少年少女合唱団
の活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、



つばさ少年少女合唱団のメンバーが舞台上で拍手。
合唱団は、障害児の子どもたちに音楽の楽しさを伝え、心を育てることを目的とし、今年度、活動を開始した。

福岡から寄贈の中古消防車
タイの訓練に役
立つ



訓練中のタイの消防学校の教習車。右後方が、
「つばさ少年少女合唱団」から寄贈された消防車。タイ、
バト

九州宣導大協会に
30万円を寄付
福岡北
福岡ライオンズ
クラブは十四日、
障害者施設を建
設する特定非営利活動法人「
つばさ少年少女合唱団」に、
30万円の寄付をした。
この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、

「つばさ少年少女合唱団」
の活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、

つばさ少年少女合唱団
の活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、



4障害者団体に
支援金各15万円
寄付
つばさ少年少女合唱団
の活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、

料理と歌でお年寄り慰問
50周年の北九州八幡LC
やすらぎ荘に30万円

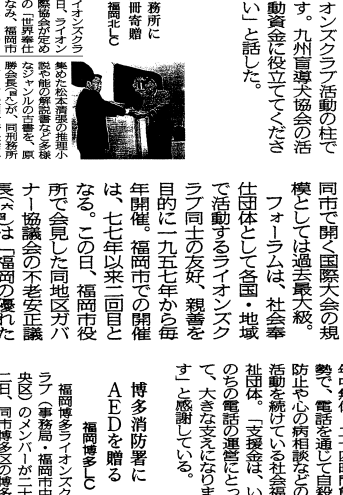


角井子さん(中央)の歌謡ショーを楽しむ
入居者たち

九州宣導大協会に
30万円を寄付
福岡北
福岡ライオンズ
クラブは十四日、
障害者施設を建
設する特定非営利活動法人「
つばさ少年少女合唱団」に、
30万円の寄付をした。
この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、

「つばさ少年少女合唱団」
の活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、

つばさ少年少女合唱団
の活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、



福岡市役所に
17カ国・地域
2012年福岡集結
17カ国・地域
2012年福岡集結
17カ国・地域
2012年福岡集結

九州宣導大協会に
30万円を寄付
福岡北
福岡ライオンズ
クラブは十四日、
障害者施設を建
設する特定非営利活動法人「
つばさ少年少女合唱団」に、
30万円の寄付をした。
この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、
「この寄付金は、合唱団の
活動に活用される。合唱団
は、障害児の子どもたちに
音楽の楽しさを伝え、心
を育てることを目的とし、
今年度、活動を開始した。
合唱団の代表者は、



福岡市役所に
17カ国・地域
2012年福岡集結
17カ国・地域
2012年福岡集結
17カ国・地域
2012年福岡集結

新聞記事のPR効果

直近一年間に於ける、337-A地区「ライオンズクラブ」が新聞に取り上げられた頻度の調査報告
対象新聞社(西日本・朝日・読売・毎日・産経・日経) / 対象放送局(NHK・九州朝日放送)

NGO名(社会奉仕団体)	新聞掲載回数	TV(ニュース報道)	記事が掲載される 1日当たりの平均頻度
ライオンズクラブ	711件	0件	1.94回
ロータリークラブ	631件	0件	1.72回

LCに於いては、実に一日平均2回は、記事になっている現状。
何故?これだけPRされていても、ノンライオンズのLCに対する誤認はなくなるのか?仮に、これから報道各社との深い関係を築いて取材に来てもらっても、我々の意図するイメージは正確に伝えられないのではないか?
PRに関する事業資金(ザラタ・リジョン誌・クラブ会報・HP等)と、アクティビティに拠出する事業資金は、違う次元で論議されるものではないだろうか?

[TVCM試作品]

1925年
ライオンズクラブ
国際大会



BGM ~
アメーzingグレース

(ナレーション)
「盲人たちの暗闇を照らす
光の騎士たれ」



ヘレンケラーの私たちへの呼び
かけが、活動の原点です。

福岡編

世界編

1981年
九州第一号の
盲導犬寄贈

2020年
トラコーマ・河川失明症
撲滅



一人でも多くの方に、
盲導犬と共に歩く



子供たちから
視力を奪う、
トラコーマ
などの難病を



喜びを届ける
ために。



この地球から撲滅
するために。



福岡で
ライオンズクラブの
活動は続きます。



福岡で
ライオンズクラブの
挑戦は続きます。

「LCテレビCM」DVD視聴、又は企画書閲覧希望のクラブは、合同事務局迄お申し出ください。

特集

『明日のライオンズを考える』

PART II

提言集

「若輩ライオンが変革を掲げてガバナーに臨む」

L大野元裕(川口LC)



3300-C地区年次大会において選挙の結果ご信任をいただき、副地区ガバナー予定者になりました。再度ご支持を頂ける場合、再来期には地区ガバナーになります。入会七年目の若輩ライオンが諸先輩を差し置いて地区を統べる要職に就くにあたり、小生なりの考えを述べさせていただきます。

ガバナーの道を歩む決意をした理由

わたくしは再来年五十周年を迎える川口ライオンズクラブ所属で、三世ライオンとして、あるいは国際理事であった父の影響もあり、幼いころよりライオンズの雰囲気に触れ、あるいはフェロー・ライオンと接する機会をいただいてまいりました。このような経緯もあり、父の死を受け、二〇〇三年に十三年の研究・外交官としての海外生活を終えて

帰国すると、ライオンズへの入会は半強制的且つ自然でした。また、地区や複合でお手伝いをさせていただく機会をいただいております。さらに、多少外国語を使えることもあり、国際会長公



1998-2000 元国際理事
故 L. 大野元昭 (川口LC)

式訪問等での通訳などを通じ、複合地区外の多くの方々と接する機会も賜りました。

ライオンズにお世話になる中で、多くの方から、「お父さんの後を継いで」早くガバナーに立候補すべきと何年にも亘りお叱りを受けました。しかし、それらは何の意味があるとも思えませんでした。なぜならば、ライオンズは個人の奉仕の精神に基づき成立しており、「血筋」はもとより、かりに「世襲」などという言葉が語られるようであってはならないと思うからです。引き継がれるべきものがあるとするれば、先人ライオンの行為と想いであり、それは「血」がもたらすものではないはずで

とところがその一方で、多くの疑問や問題意識も生まれてきました。素晴らしい伝統と単一クラブのアクティビティにもかかわらず、メンバーは高齢化・減少し、厳しい経済環境の下でクラブ運営に支障が出てくるあり様です。それにもかかわらず、キャピネットは効果的な施策を打ち出せないばかりか、逆に問題を抱える場合もあるように見えました。ボランティア仲間の役割のはずなのに、役職に伴う権威主義、社会的地位と常識を持ち合わせる立場の方の集まりのはずなのに、なぜか現れる低レベルな争い、時にルールをないがしろにするキャピネット運営、読んだこともないロバート議事規則に言及する先輩ライオン等、様々な問題も見えてきたのです。

このような現実と直面するにあたり、現状を憂うのみで後悔することはないかと自問するに至りました。周知のとおり、我が国ではメンバー増強が叫ばれて久しい。年々、数多くのNGOが現れる中で、ライオンズクラブは埋没しつつある

のかもしれない。二十年後には、ライオンズクラブは衰退し、各クラブは高齢化してアクティビティすらままならず、もしかすると現在の数の地区が維持できない状況にならないとも限らないと思われたのです。

しかしながら、おそらく多くのフェローと同様に、私は以下の意味でライオンズクラブを信じています。

○ **ライオンズのメンバーを信じています。**多くのメンバーは義理と人間関係でクラブに参加したのかもしれませんが、しかしながら、ほとんどの人々は、自分でできる方法でクラブ、地域社会および社会のニーズに貢献しています。彼らの力と意思を信じています。

○ **世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブが国際社会および地域社会に果たす役割は今も重要で、ライオンズは脈々と生き続けていると信じています。**

○ **それぞれのクラブの奉仕活動は高貴なもので、継続されてきたその力はきわめて大きなものと信じています。**

○ **ライオンズクラブの未来を信じています。**多くの問題もある一方で、より大きな可能性と素晴らしい点があると信じています。

このような意味でライオンズを信じ、九十年の歴史と伝統を受け継がれるべきと信じればこそ、ライオンズが抱える問題に不満をこぼすのではなく、自らの力の限界を承知しながらも、できることを行うべきではないかと感じ始めたのです。それはある意味で自分がなし得る奉仕であると感じたのです。

単一のクラブも問題を抱えていると思うものの、より大きな改革のニーズは、それを束ねるキャビネットにあると思います。だからこそ、自分はキャビネットにおける改革を提言し、選挙を通じてメンバーの方々に意を問いたいと思い、立候補したのでした。

ガバナーとしての施策試案

先日、民主党の小沢代表が辞任しましたが、彼が代表に就任した頃、「山猫」という映画のセリフを好きな言葉として述べていました。曰く、「**変わらずに生き残るためには、自らが変わらなければならない。**」代表辞任を受けて、マスコミはこの時の言葉をとらえて小沢氏が変われなかったと揶揄しました。政治の話はさておき、この言葉こそ今のライオンズに必要なように思われてなりませんし、「変わる」ことを標ぼうしながら変わらなかつたと受け止められた結末から学ばなければ

なりません。先人が築き上げたライオンズクラブの伝統と成果は疑いもなく偉大で、且つ、ライオンたちが拠って立つものです。しかし、その伝統を変わらず次の世代に伝えるためには、今のライオンズが自らを戒め、新たな血を受け入れながら、時代に合わせて変わらなければならないと思うのです。

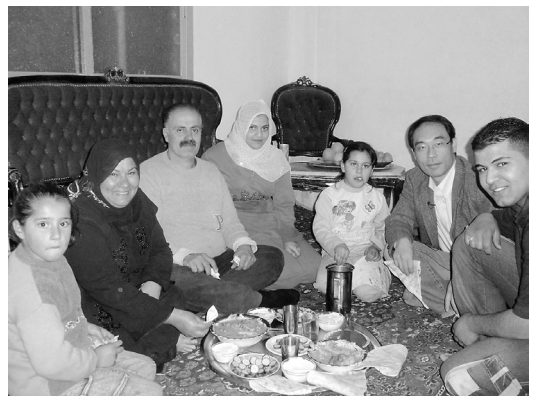
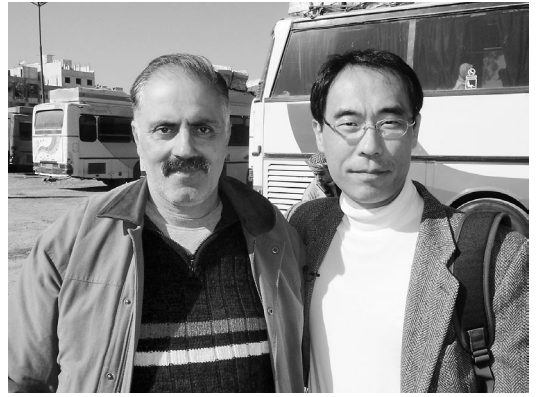
そのためにガバナーとして取るべき方法は一つではないでしょうし、問題を克服するための特効薬はないのかもしれませんが、それどころか、非力なわたくしの示し得るレシビは、正解ではないのかもしれませんが、しかし重要なことは、第一に、理念と共に具体的な手法を示すこと、第二に、各メンバーに刺激を与えて、組織に変革に向けた力を与えること、第三に、ルールを明確にし、わかりやすい運営を行うこと、のよう思えてなりません。

一、具体的な手法の提示

縷々述べてきた懸念は、小生の知り得る限りでも、幾人ものフェローに共有されてきました。しかし、改革を叫ぶだけではライオンズは変わりません。痛みを共有する覚悟と具体的な施策が必要に思われます。たとえば、会員増強はどうでしょうか。何人のガバナーからこの言葉を聞いたでしょう。ほとんどのメンバーは会員増強の必要性を理解しているはずですし、多くのクラブはそのための努力を講じています。それにもかかわらず、メンバー数は減少しています。

ガバナーおよびキャビネットは国際協会と各クラブを繋ぎ、地区を運営すると共に、国際協会の目的を推進するために各クラブを支援するべきと考えますが、これは会員増強についても同様だと思えます。会員増強を各クラブにお願いするだけではなく、必携にあるよう、「効果的な会員増強を・・・監督し、推進するよう激励する」必要があるはずです。そのためにキャビネットが示し得る具体策があるはずだと思われ、そのことを一年かけて考えて行きたいと思っています。

現時点の考えとしては、たとえば、各クラブに対する効果的なPRの手法に関するセミナーの実施、同好会の活用とビジターの積極的な参加奨励、新入会員支援のお願い等を考えています。ライオンズクラブの知名度を高め、各クラブのアクティビティを周知していくことは、メンバーのアクティビティへの参加を促し、奉仕の輪を拡大するのみならず、ひいては会員増強を容易にする環境を醸成すると思われまます。ところが、多くのクラブは、立派なアクティビティを実施しても、それを対外的に広報する手段を欠いているようです。たとえば、地元の報道機関の把握やプレス・リリースの書き方をPR委員がクラブに伝達することができれば、一定の成果があり得るだろうし、PR委員のやる気にもつながると思えます。



また、ゴルフ部会等の同好会活動を実施しているクラブも少なくないようですが、そこに外部の関係者を招いていただけば、我々の理念を共有していただく機会が拡大し、会員増強に役立つでしょう。そのような活動に際して、たとえば「ガバナーク杯」を提供することが適切であれば、積極的にやりたいと思います。さらに、せっかく新入会員が入っても、孤立したり、打ち解けられなければ、退会の可能性も高くなるように思われるところ、スポンサー会員等のメンバーに新入会員を担いだいただき、たとえば例会と一緒に来る等の措置を講じるよう、奨励したいと思います。

会員増強に限らず、一定の目的に対し、キャビネットして、さまざまな知見を共有しつつ具体的な手法を示すことによって、改革を具現化していく所存です。

二、変革に向けた刺激の共有

変化の必要性に関する認識が共有され、手法が示されたとしても、エネルギーがもたらされ、それが推進力とならなければ改革はないと思います。実行なき理念は、不満の鬱積と組織に常に潜む守旧への憧憬の中で亀裂を招くとすら思われます。

変化を実現させるためには、刺激が必要です。「CHANGE」を掲げて大統領となつたバラク・オバマの場合、エネルギーを招いた要因は彼が大衆に向けて提示した「YES、WE CAN」という、ある意味での挑発と、わかりやすいプレ

ゼンテーション能力だったと思います。大国にして利権に敏く、失敗すると内向きになつてきた米国が変化に動きだせるのに、ライオンズクラブは変わることができない集団なのでしょう。か。「俺たちは、できるんだ」と表明する勇氣は存在しないのでしょうか。さらにオバマ大統領の場合、当初は「いろもの」と見られる一方で、彼の主張が受け入れられた後は、それが波となり大統領を作り上げる勢いを形作りました。口先にとどまらない「変化」は、ライオンズにとって身を切る痛みになるかもしれません。しかし、それを波となし、「生き残るために、自らが変わる」ことを共有してもらふ必要があると考えています。

具体的に組織にどのような刺激を与えて行くか、は容易ならざる問題です。試案ではありますが、第一に、「自分は関係ない」と考える層を巻き込みたいと考えられています。私は、ガバナー選挙にあたり「現役でも、勤め人でもガバナーになれる環境」と訴えました。このような人々にとつて、ガバナー選挙に際して各クラブを回り、有力者と会うのは負担になるはず。それゆえ私は、各クラブ会長に書簡を送り、「勤め人でもガバナーになれるようなライオンズに変わらなければ、将来はないと思われる。そこで、本書簡以外、各クラブにお伺いしてお願いをすることはいたしません。元ガバナーにお会いし、お願いはいたしません。」と申し上げ、実行しました。考えようによつては、大変失礼な主張ではありますが、それでもしなければ、組織に刺激を与えると共に、裾野を広くし、メンバーを拡充する

ための準備は整わないと考えたのです。

第二に、やる気のある方々がキャビネット運営にたずさわられるような環境を醸成したいと考えています。経験と能力を有する諸先輩ライオンにお願いする事項が多いのは、いつのキャビネットも同じかもしれませんが。しかしながら、そのことに甘えて、常に同じ顔ぶれが並ぶような委員会やキャビネットは、隠れた逸材に機会を与えず、次期国際会長が掲げる「リーダーシップ育成に力を注ぐ」という主張にそぐわないものと考えます。やる気を発掘するために、私は、基本的に副幹事を公募制にすることを考えています。公募の結果、選に漏れる方が出るとすれば残念ではありますが、経験がないゆえにキャビネット運営にかかわることができない、と最初から諦められるよりよいと思っております。

第三に、この刺激をより多くの方々と共有したいと考えています。私がガバナーに選ばれるとすれば、私は地区に対して国際協会を代表いたします。しかしながら、それ以前に私は、大きなつながりを有するライオンズクラブの一員です。地区内のみならず、多くの有志を刺激し、あえて申し上げれば「挑発できれば」本望です。本来であれば、他の地区の副地区予定者が、貴リジョン誌の紙面をお借りするのは筋ではないのかもしれませんが。しかし、もしもこの紙面が、誰かの目にとまり、かりに反発であるとしても刺激となるならば素晴らしいと考えています。

さらに、クラブのあり方についても、キャビネット主導で刺激を与えて行くつもりです。会員数が減少する一方で、歴史を重ねるクラブには、メンバー数が多かった際に決定した多くのアクティビティを継続することに青色吐息の場合が散見されます。私はあえて、「アクティビティを見直してみませんか、やめるべきアクティビティは何ですか」と問うつもりです。また、エクステンションはきわめて重要ながら、ガバナーが実績を上げるために無理なエクステンションを行うのは本末転倒と思われまます。私はエクステンションを奨励しながらも、より強い力点を現在のクラブの維持と、必要であればクラブ合併に置いていくつもりです。

三、わかりやすい運営とルールの明確化

副地区ガバナー選挙に出馬するにあたり、私が強調したもう一つの点は、「主権在クラブ」でした。疑いもなく、それぞれのクラブの活動には目を見張るものがあります。しかしながら、キャビネット主導で無理なアクティビティを押し付けるのはルール違反です。キャビネットはあくまでも、単一クラブの奉仕を最大限に引き出すための支援機関であるべきと考えます。

かつて私がキャビネット会計を務めていた際、ある自然災害に際して、全日本八複合から「義捐金を割り当てて」旨の文章が接到しました。私は、当時のガバナーのご承諾を得て、「八複合は上部組織ではなく、割り当てならば受け入れられない」と回答し、最終的に協力のお願いに変わっていただきました。LCIFしかり、我々は国際協会の言いなりになって資金を提供する組織ではありません。必要と考えられる奉仕を「WE SERVICE」の精神の下に、手に手を取って実施する組織です。キャビネットがこの原則をないがしろにしてクラブの反発を招くようでは、効果的な奉仕はかなわないと考えています。

出る杭を育てていただきたい

偉そうなことを書き連ねましたが、副地区ガバナー選挙に際して、不遜なことに私が行った「賭けと挑発」は、寛容なことに地区の方々に受け入れられたと考えています。大野という出る杭は間違いも犯すはずですが、フェローの温かいご支援をいただくことが出来ました。偉大なメルビン・ジョーンズに自らを重ね合わせるつもりなど毛頭ありませんが、ジョーンズは当初、所属するクラブで慣例にない献身を行い、皆からいぶかられたが、仲間たちは出る杭ともなりかねなかったジョーンズの行為を評価したと聞いています。

おそらく、多くの地区にも出る杭はいるはずですが、出る杭の中にも、自らが目立つただけのような出る杭と、考えようによっては使える出る杭がいるのではないのでしょうか。若手会員の力を活用し、組織を活性化するためには、これまで通りの論理と手法のみならず、出る杭を暖かく育て、過ちは正す寛容さが、求められているのかもしれませんが。「変わらざるに生き残るために、自らが変わる必要」があり、ジョーンズ曰く「不慮の挑戦」が要求されるのですから。

プロフィール

L. 大野元裕 (昭和 38 年生 45 歳)
330-C 地区第一副地区ガバナー・
エレクト (330-C 地区川口 LC)

ライオン歴

平成 14 年川口 LC 入会。同 15 年幹事。同 16 年地区キャビネット副幹事。同 17 年キャビネット会計。同 18 年会長。同 19 年複合地区長期計画・政策委員会副委員長。同 21 年地区第一副地区ガバナー・エレクト。

その他

研究者、外交官を経て現在会社役員。内角府調査室西アジア研究委員や防衛省防衛戦略委員会委員、東京大学をはじめ多くの大学の講師も務める。中東情勢の専門家として、TV やラジオにも出演し、著書も多数ある。

「ライオンズクエストなんて・・・」と言う前に。

清水直喜(敦賀みなとLCC)



子どもたちに硬球とすり鉢を渡します。

そこに粉米を持ってきました。

この3つで何ができるでしょう？

想像もつかない子、答えが浮かんだ子…。

いずれにしても、子どもたちは「どうなるの？」と大きな興味を覗かせます。

すり鉢に粉米を入れ硬球をグルグル回すと、粉米が割れて玄米が出てきます。

さらに、この玄米をビンに入れて棒で突けば、糠がとれて白米になります。「やってみたい」「面白い」「わかった！」子どもたちはこんなことが大好きです。

子どもたちは、粉米を知っています。粉米がそのままでは食べられないことも知っています。子どもたちは、白米を知っています。白米を炊いたら美味しいご飯として食べられることも知っています。一方で、粉米がどんな方法で白米になるのか、子どもたちはよく知りませんでした。

「粉米は食べられない」「白米は食べられる」という2つの知っていること。それを結ぶ「粉米を白米にする方法」が子どもたちにとってよくわからない、ブラックボックスのようなものだったのです。

しかし、すり鉢と硬球を使って「粉米を白米にする方法」を経験すれば、「粉米は食べられない」「白米は食べられる」という2つの知識がつながり、すぐにこのブラックボックスを解き明かすことができます。

その経験を活かして精米したお米を炊く機会があれば、最初に子どもたちが持っていた二つの知識は経験と機会を通じて結びつき、より確かな知恵となりま

す。そうやって炊いたご飯を食べたらきつと「すごく美味しい！」と、大きな喜びが生まれるでしょう。

子ども達は、粉米を白米にした経験や機会がなかった。だからその方法が分からなかった。

時に、私たち大人が子ども達に対して「何でこんなことができないんだろう？」「何でこんな前の方がわからないんだろう？」と感

じる原因はここにあるのではないのでしょうか。

「何でこんな前の方がわからないんだろう？」と感

じる原因はここにあるのではないのでしょうか。

は、その多くの原因はここにあるのではないのでしょうか。

幸いにして、子どもたちはそんな大人の期待に応えるだけの最低限の、あるいは、十分な知識を持つているものです。しかし残念なことに、子どもたちにはその知識を結びつける経験が足りない、あるいは、知識と経験を活用し確かな知恵とする機会が足りないのではないのでしょうか。

皆さんがそれぞれの立場で、現在の子どもたちについて「なぜ？」「どうして？」と疑問や心配を感じていることはありませんか？そのような場面では、お米のこ

とと同じように「**経験**」と「**機会**」が重要なキーワードとなるはず

です。我々大人には子どもたちに望んでいることがあります。

いろいろな立場の様々な大人が、それぞれに望みや願いを子どもたちに向けて

いますが、それらは全て子ども達の「健全な成長」に向けられたものではないで

しょうか。

その「健全な成長」を遂げた姿を白米に、これから大きな成長を迎えようとし

ている思春期の子ども達を粉米に例えてみる事ができるかもしれません。

子ども達は、自分たちがまだ「粉米」であることを知っています。また「健全な成長」を遂げた「白米」になることがきつと大切なことだろうと知っています。しかしながら、「粉米」から「白米」になるための方法が実はよくわからないのです。

そもそも、白米になっていない粉米が白米になる方法を知らないのは自明の理ですが、とはいえ、昔の粉米は昔のやり方で、ある意味で厳しく又ある意味で優しく育てられるうちに、自ずと白米になるために必要な「大切なこと」を知っていたのかもしれない。ところが、今の粉米は今のやり方で、ある意味で幸福な又

ある意味で不幸な育てられ方をしているうちに、自ら白米になるために必要な「大切なこと」が判らなくなってしまうのではないのでしょうか。

必要な経験と機会を得ないまま、粃米が殻を破り歩き出そうとしたとき、そこには自動粃米機のようなブラックボックスが立ち、ただかかっている。暗い道筋の遙か先に「白米」の像が霞んで見えている。それが「健全な成長」を遂げて目指すべき目的地だとわかっているけど、その方法である道筋は暗くてよくわからない。歩みを進めなければならぬと思いつながら、立竦んだり道に迷ったり、あるいは、あきらめて引き返してきたり。そんな気がかりな子ども達がいる。

そのときに私たちはどんな手を差し伸べればよいのでしょうか？

「ガンバレ！」と励ますこと？目的地の看板を大きくしたり増やしたりすること？それらも必要でしょう。現に我々は、スポーツや文化の大会やコンクールを開いて頑張っている子ども達を称えたり、啓発のための催しを開き冊子を配付し看板を設置したり、青少年の健全な育成に向けた奉仕をたくさん実践しています。

しかし、先ほどの「粃米」のために、立竦んでいる気がかりな子ども達のために、もう一歩踏み込んだ手立てが必要ではないでしょうか。

彼らが必要としているのは、ブラックボックスを解き明かし、明るく足下を照らす方法。そして、そのための経験と機会なのではないでしょうか。

そこで、**ライフスキルの** 出番です。

直訳すれば「ライフ＝生きる・生活・人生」の「スキル＝技術・知恵」。

例えば、無人島に漂着した時に、今日の糧を得て・火を熾し・風雨をしのごう技術や知恵。こういったものもライフスキルに含まれます。

しかし、特殊な環境や特別な事情のない、ごく一般的な生活の中にもたくさんさんのライフスキルが使われています。

一般的な社会生活の中にも、無人島での生活ほどではなくとも、多くの困難や障害があります。寧ろ、多くのの人たちと共に生活していく社会



336-D 地区での体験会にて、導入事例の説明。



334-D 地区 4R 体験会でのプログラムを用いた授業体験。参加者によるグループワークの様様。



金沢市立犀星中学校での体験会の様様。

の中で「世間の荒波」に揉まれながら生きていくことの方が難しいことかもしれない。

幼年期から思春期に入った子ども達は、徐々にその波にさらされ始めることでしょう。その困難や障害の波に立ち向かい、それ乗り越えるために、自分の力を伸ばす方法・責任を果たし自分を律する術・良好な人間関係を築く技術などを身につける。

それが**ライオンズクエストの「思春期のライフスキル教育」**・・・「生きる力を育てるプログラム」です。

ライオンズクエストの探求は学校の教室から始まります。子どもたちにとって最も主要な生活の場である教室は、言わばベースキャンプのようなものです。

まず、ベースキャンプを心地よく安心して生活できる場にしていく活動が行われます。例えば、自分の誇りを見つけ高め、友達との誇りを見つけて認め合う活動、そしてクラスの誇りを見出すための討論など、個々が自分を高めるため技術(スキル)を練習して身につけながら、このベースキャンプが「**お互いを高め合い認め合える集団**」となっていくように地ならしをしていきます。

次に、そのベースキャンプで模範的なトラブルや困難な状況を提示し、それを

題材にしてその対処方法を学びます。例えば「友達に無視された時」「怒りや悲しみが抑えきれない時」「自分の思いを伝えたい時」。そんな時に使える方法とコツ（＝スキル）を、実際にやってみて身につけます。

さらに、「認め合い高め合うスキル」や「トラブルや困難に対処するスキル」を教室の外、校外や家庭でも使えるよう、題材の範囲を広げて実践していきます。

それは、子どもたちの大好きな「ドラゴンクエスト」というロールプレイングゲームにも似ています。ドラゴンを倒す勇者として、まず、自分のお城の中で旅の準備と傷を癒せる場所を確保する。次に、お城の周りで仲間を見つけ、小さく弱い怪物をたくさん倒し、強くなるための「経験値」を貯める。そして「経験値」が貯まり強くなったら、ドラゴンが待ち受ける暗い洞窟へと探求の旅（＝クエスト）に出る。

昔の粗米に比べ、生きていくために必要な経験と機会が不足している、今の粗米たち。経験と機会の足りない彼らは、手がかりや足がかりを照らす灯りさえ持たず、人生の探求の旅を始めようとしています。暗い洞窟を手探りで歩いていくようなその道程は、あたかも「経験値」の低い勇者がいきなりドラゴンの住む洞窟に入っていくかのようなのです。

それでも、思春期を迎えた彼らは、**「健全な成長」**の旅に出て行くかねばなりません。

昔の粗米たちは、「それでも俺たちは、立竦まずに人生の旅を、困難や障害を乗り越えていった」と言うかもしれません。あるいは「今の粗米たちは甘い、甘やかされている」と言うかもしれません。

そこで昔の粗米に思い出していたきたい。昔の粗米は厳しく育てられ社会の荒波に激しく揉まれながらも、振り返った時、そこには自分を優しく抱擁してくれる家庭や社会や友人との関係があり、自分の成長を待ってくれる緩やかな時間があり、躓いても立ち直ることのできる大らかな環境があったのではないのでしょうか。そして昔の粗米は、そんな中で自然に「生きていくコツ」としてのライフスキルを学び、身につけてきているはずなのです。だからこそ、今の粗米に物足りなさを感じるのではないのでしょうか。

今の粗米は、確かに甘やかされたり世間に揉まれていなかっただりしているかも知れませんが、彼らが振り向いた時、そこに濃密な人間関係や緩やかで大らかな環境があるのでしょうか。そこにあるのが、希薄な人間関係と激しい濁流のような



敦賀気比高校中等部にて外部講師の依頼を受け「単元2：本当の自信とコミュニケーションスキルの形成」の1コマ。



地区内の導入モデル校、魚津市立村木小学校での授業風景。小学校高学年でのニーズは高い。

荒涼とした社会の風景だとしたら、そんな中で自然に「生きていくコツ」を学ぶことができるでしょうか。ともすれば、打算的に計算高く生きていくコツばかり身につけてしまうような気がします。

だから彼らには、ベースキャンプが必要です。濃密で緩やかな人間関係を構築する場として教室を出発点にするのです。自分自身と人間関係と学習集団を高め合えるライフスキルを学びながら、リスクの低い環境を構築していくのです。

さらに、彼らには、灯火が必要です。ベースキャンプである教室の中で、実際に起こりそうな困難や障害を乗り越えるための方法としてライフスキルを学び、足下を照らす灯りにするのです。そして教室の中から学校の外、家庭や地域社会での生活へとライフスキルを実際に経験する機会を重ねることで、その灯りは強く大きくなって「健全な成長」への道筋を明るく照らし、彼らは足がかりを見定めその道程確実に歩むことが出来るはずなのです。

ライオンズクエストは、子どもたちに、人生の困難や障害を照らし乗り越えていくための灯火としてライフスキルを提供し、その灯火を輝かせる経験と機会を提供するプログラムなのです。

「学校は学びの場。躰は親と家庭が取り組むことだ」という声があるかも知れませんが、確かに、学校で最も身につけて欲しいのは基礎的な学力だと、多くの大

人が感じています。しかし、現在の家庭や社会のありかたを変えなければ、子ども達がライフスキルを身につけることができないとしたら、そこに十分な経験と機会がないとしたら、学びの場にその経験と機会を設けて、家庭や社会に還流していくことが必要ではないでしょうか。

また、ライフスキルを教科の学習に置換える、何か教科学習を減らしてライフスキルを学ぶのではありません。総合的な学習の時間や道徳、ホームルーム、特別活動などの時間にライフスキル学習を取り入れ、学力の下地として、あるいは、学力を包み込むものとしてライフスキルを加えるのです。このことは、教科の学習に対してもよりよい効果を与えます。

「ライオンズが学校教育の根幹にまで立ち入るべきではない」という声があるかもしれませんが。確かに、忙しい先生の中には我々がこのプログラムを紹介することすら疎ましく感じている方もおられるかもしれません。

しかしその一方で、生徒達の現状に心を砕き、将来のための有効な手立てを探している先生方も少なくありません。保健室登校の児童を支えることが主な職務になってしまったと嘆く養護の先生は、生徒たちがライフスキルを身につけて高めていくことで保健室登校を予防することができると考えています。将来の自分を描く活動を通じて、社会で必要とされ活躍できる人物の育成を願っている校長先生は、ライフスキルにより

社会性を身につけることが学力を付けることと同じぐらいに重要だと考えています。また、社会人を講師に招いた授業や就業体験を通じて社会を学ぶ機会を作り、地域に開かれた学校、地域に必要とされる人物の育成に力を注ぐ学校も多くあります。

ここに、ライオンズクエストのニーズはないでしょうか。

ライフスキルを身につけ、自分出来ることを増やし、責任ある行動を心がけ、自分も他人も大事に認められる人物を育て



地区内の導入モデル校、越前市立武生第三中学校での「単元2 授業8：適切な意志決定が出来るようになる」の授業風景。適切な選択肢を考えることを、トランプに例えて説明している。

る。その経験と機会を提供する。子ども達がその中で健全な成長を遂げ、学校から家庭や地域にこの価値観が還流する。

これを進めていく道程には多くの困難があるでしょう。しかし、ライオンズにとって魅力あるやりがいのある奉仕ではありませんか？

そのようにライフスキルを身につけた子ども達も、社会の舞台に飛び出して活躍する。このことは地域にとって、そして、地域を支えるライオンズにとって、幸福なことではありませんか？

人生の探究に旅立とうとする子どもたちに、暗闇の道程を照らす灯火としてライフスキルを手渡し、彼らにより素晴らしい人生を送るための経験と機会を提供する。

ヘレンケラー女史の「盲人の暗闇を切り裂く騎士たれ」という願いにライオンズの先達が応えたように、ライオンズクエストを通じて「子ども達の探求の旅(クエスト)を照らす灯火」を、「経験と機会」を提供しようではありませんか。

ライフスキルは、硬球とすり鉢のように、ごくありふれた簡単なものです。その方法を知り、経験する機会さえあれば、粉末から玄米を取り出すように、玄米を白米に精米するように、誰にでも簡単にやってみて身につけることができます。

たくさんのお米たちがピカピカの白米になり、美味しいご飯になる。私は、一人のライオンとしてそんな未来を支えて行くことに、今、大きな喜びを感じています。

「ライオンズクエストなんて・・・」と言う前に、是非一度、説明員による体験会を経験してみたい。そう願っております。

プロフィール

L. 清水直喜(昭和47年生 37歳)
LionsQuest (ライオンズ・クエスト)「思春期のライフスキル教育」プログラム説明員 (334-D 地区敦賀みなとLC)

ライオン歴

平成14年敦賀みなとLC入会。同17年地区青少年指導委員。同19年地区キャビネット管理委員長(副幹事)。LionsQuest「思春期のライフスキル教育」プログラム説明員認定取得。同21年幹事。

その他

334複合地区が誇る“日本一のクエスト説明員”要請に応じて全国で啓蒙活動を展開する。その本質を衝いた分かり易い指導には定評がある。会員制コミュニティサイト『ライオンネット』でも活躍するマルチライオン。

縦割り、横割り、やがて円形社会へ

L鹿島紀夫(福岡NOZLC)



「ライオンズへの提言」そんな小難しい考えでいるわけではないが、今のライオンズが抱えている問題を考えてみたいと思う。

まず一番に考えられる問題は、会員数の大幅な減少であると思う。毎期百名近い会員が減っている。今期もその例外ではないだろう。なぜ減少するのか？なぜ増加しないのか？同じ問題ではあるが、自身には少し違いがあるように思う。なぜ減少するのか？という問いには、古い会員の退会がある。なぜ古い会員が退会するのか？はつきり言つて、ライオンズクラブに魅力を感じ無くなったからだと思う。なぜ魅力がなくなったか？これには諸説あると思う。

一番の説は、ミニクラブの増加による、「会員の質の低下」にあると思う。例会に魅力がなく、会長に指導力がなく、会員に自覚がなく、キャビネットに問題意識がなく、資金がないからといって、さまざまな委員会の委員長研修をおろそかにしてきたつげが出てきているように思う。自分たちが入会したころは、確実に研修での勉強会で、自分の所属する委員会が何をやらなければならないかを指導されていた。だから、委員長を経験するたびに、ライオンズクラブという組織について理解できていた。クラブ数の増加につれ、入会層が浅く、幹事、会計の経験もなく、突然会長をする時代となっている。根本的には、国際本部の要請に応じて、時々ガバナナーが、自分の成績のために、エクステンションを奨励してきた問題が大きい。現在、2Rに於いては、三十名以下の会員数のクラブがなんと多いところか？四十名以下のクラブでは、アクティビティもままならないのではないだろうか？そうした問題があるにもかかわらず、ゾーンあるいは、リジョン単位での合同アクティビティを考えようと思わないのか？役員を受けるからには、自分のリジョンの問題点を考えて受けてほしいと思う。合同アクティビティをすることに、それぞれクラブの会員の間に、連帯感が生まれ、例えば、クラブの解散合併、再入会といった問題も、よりやり易くなるのではないだろうか？大きなクラブが必ずしも良いとは限らないが、少なくとも、何らかの奉仕をする面に置いては、「数は力なり」という側面があると思う。それと同時に、ミニクラブ(三十

名以下くらい)には、キャビネット役員を出す権利を与えないというのも、会員増強の一手段かもしれないが、しかし、現在のライオンズクラブに、自浄作用を求めても難しいかもしれないが、来期より、「青年アカデミー」なる組織が誕生するというのを聞いていたが、その組織には、期待を持っている。新鮮な考え、あふれるファイトで、ライオンズクラブを活性化してほしいと思う。高齢者ライオンの中にも、積極的にその組織を応援しようと考えている会員も多くなる。どうしたら、ライオンズクラブが復活できるのか？その一点に絞って考え行動してほしいと思つている。このような混沌とした時期だからこそ、改革が進められるのだと思う。

縦割り社会の中にあつて、どうしたら横の委員会と連携できるか？YCE、レオ、PR、献血それらの委員会は、共同歩調をとることにより、若い人たちをその運動の渦の中に巻き込んでいけるのではないかとと思う。例えば、街頭献血に際して、YCE派遣生の在学する学校、レオクラブの会員の所属する学校等と連携をとれば、学校単位の献血も可能ではないだろうか？単一クラブ単位で考えずに、ゾーンとか、リジョン単位で活動することが大切なのではないだろうか？また、その他のアクティビティにしても、それら若い力を取り込むことにより、より充実したアクティビティにつなげていくのではないだろうか？自分の考えの現のために、今期YCE複合の志岐委員長は、来期も重任し、あえて大変な仕事を進めていこうとされている。それともう一点、第一副会長の勉強会を、ぜひ、リジョンで実行してほしい。会長になったとき、何をなすべきかを教育してほしいと思う。年に三〜六回位昼食を交える形で、名誉顧問、RC、ZCの経験者の皆さんの経験を下に、ライオンズクラブの精神と、会長としての職務について教育してほしい。これだけは、実現も簡単と思うので、次期からぜひ実行してほしいと思う。

他にも色々書きたいことはあるが、このくらいにしておき、またの機会に書きたいと思う。

ライオンズクラブ国際協会 337 - A 地区 2R
YCE 委員会内規

これまで成文化された内規が無かった事による解釈の違いをなくすために、2008年7月度より、YE委員会からYCE委員会に名称が変更されるのを機に、成文化した内規を定め、今後の運営に役立てる。

- 1 名称
YCE (Youth Camp Exchange) 委員会とする。
- 2 構成
2R1Z～4Zの各クラブのYCE委員長と2R地区YCE委員とにより構成される。
- 3 目的
当委員会は、ライオンズクラブが青少年育成の一環として実施する、青少年国際交流事業である海外からの青少年の受け入れ事業、及び、国内青少年の海外派遣事業の円滑な運営を目的とする。
- 4 主たる事業
海外からの短期留学生（来日生と呼ぶ）の滞在中、ホストクラブ、ホストファミリーとしての役割を果たしたり、海外へ派遣される青少年（派遣生と呼ぶ）をクラブとしてスポンサーしたり、研修の手助けをしたりする。
- 5 2RのYCE予算
2RのYCE予算として、青少年育成資金3,500円の内2,700円×2R会員数が計上される。
- 6 予算の用途
 - ・福岡市国際交流協会へ4Rと隔年で50万円か25万円の補助金拠出。
 - ・福岡市姉妹都市委員会の7部会（USオークランド・光州・ポルドー・NZオークランド・アトランタ・釜山・イポー）の年会費として1部会あたり10,000円、合計70,000円を拠出。
 - ・会議場使用料等の雑経費。
 - ・派遣生に対する旅費等の支援金として、一人15万円を限度として支給する。（旅行社への支払いに充当する）ただし、旅費及び滞在にかかる費用の合計金が15万円に満たない場合には、その範囲内とする。
 - ・来日生のホストクラブに対し一日一人5,000円の支援金を支給する。
（ホストファミリーに対して直接の支援はしない。）
- 7 派遣候補生の募集と試験
原則として、冬期派遣候補生は9月初め迄に、夏期派遣候補生は10月初め迄に募集し、英語の試験と面接を9月中頃と10月中頃にそれぞれ実施する。
- 8 合格基準点
原則として、クラブ推薦候補生は英語力テスト40%以上（50点）、一般公募生は50%以上（60点）とし、その年の応募者状況により多少の変動を加味する。（冬季派遣候補生は全員クラブ推薦となるのでこの適用外とする）
- 9 スポンサークラブの負担金
原則として候補生一名につき50,000円（オリエンテーション費用、制服代等）の負担をする。
ただし、オリエンテーション開始後出発までの期間において自己都合によりキャンセルされた場合には、候補者の責任として、クラブへ返金するよう指導する。
- 10 委員会の開催
原則として、委員会の開催は地区YCE委員が召集する。
開催の日時はその都度決定する。
今期次期引継ぎ会は、懇親会を兼ねた会を計画する。
- 11 その他
当内規は社会情勢等の変動により、適宜変更を加えられるものとする。
- 12 2008年11月01日より適用する。
- 13 青少年育成資金のうち300円×2R会員数分の資金は、YCE委員会、レオ・クエスト委員会との共通経費とし、どちらかの委員会が赤字になる場合に、その補填資金として使用する。ただしその資金利用時には、RC,ZC、各委員の会議での了承の上使用できるものとする。また、その決算については、監査委員の監査を受けるものとする。
- 14 緊急援助資金の創設について
青少年育成資金の残高の中から500万円を別立て預金として確保し、緊急援助資金を創設する。
YCE委員会、レオ、クエスト委員会等の実施する事業において、緊急の事態（事故、不測の事態等）発生時に、担当の地区役員、保護者、スポンサークラブ、スポンサーファミリー等々の関係者が緊急に移動する必要が発生した際の、移動費、宿泊費、その他の必要経費の支払いに当てる。その必要事態発生の際は、緊急性を要すると考えられるので、RCの了解の上で利用可能とする。（時間的余裕ある際には、関係役員の合意の上で）
また、解決後保険請求できるものについては、保険会社に請求し、それで補填をするものとする。
決算については、リジョンの取り決めによるものとする。
目的外には絶対に使用できないものとする。
- 15 この内規については追加項目（13～15項）を含めて、2009年4月01日より適用する。

ライオンズクラブ入会四年目にして思うこと

L三嶋清忠(福岡NOZLC)



私もライオンズクラブに入会させていただき四年目を迎えようとしている。これまで、色々な奉仕活動に参加させていただき、数多くの感動をあじわわせていただくことができた。

特に、昨年参加させていただいたバンコクでの国際大会のパレードは今も私の心の中に深い感動として残っている。

さて今回、テーマとさせていただいた「ライオンズクラブ入会四年目にして思うこと」であるが、歴史あるライオンズクラブの事につきまだまだ経験や理解が足りない、ひよっ子ライオンのつぶやきとして諸先輩方には大きな心で受け止めていただきたい。

昨年、福岡2R PR誌に第一回一、〇〇〇名アンケート意識調査結果報告が掲載されていた。その中のQ7の「あなたがライオンズクラブに入会した理由(複数回答可)」の質問に対して一位が付き合ひ、三〇・七二% 二位が人脈形成・社会勉強三〇・三八% 三位が社会奉仕三〇・〇三%とほぼ同数の結果が出ている。私が入会理由もお付き合ひであり意識調査の結果とおりである。次にQ8の「あなたがライオンズクラブに入会して良かったと思う理由(複数回答可)」については一位が友達が出来た三一・四九% 二位が社会奉仕への参加・達成感三一・〇七% 三位が社会勉強になった二七・九六% との結果である。この意識調査の結果をどう捉えるかは人によって意見の別れるところであろう。私の思うところではライオンズクラブ入会の理由や動機に関しては色々あつてよいと思う。しかし、入会して良かった点についての調査結果が奉仕活動への参加・達成感がダントツの一位であつてほしかった。なぜならライオンズクラブのモットーであるWe Serve(われわれは奉仕する)の旗印の下、奉仕活動を行っているのであれば多くの会員各々がその活動に対して達成感を感じていてもおかしくないはずである。それがあまり感じられて無いということはライオンズクラブ本来のWe Serveの精神が参加者に伝わっていないのかもしれない。

私は、ライオンズクラブ入会理由がお付き合ひであつた事もあり、入会当初は社会奉仕などの高い志を持っていたわけではない。先輩ライオンの姿を見て徐々にその活動に興味が湧いてきた。しかし、当初から高い志を持って入会された方々もいる。そうゆう方々にとつて見れば理想と現実の狭間で悩まれている方が多いのではなからうか？

高い志を持って入会された方々に諦めに近い気持ちを持たれ退会されるようなライオンズクラブのMember Serviceであつてはならないと思う。

以前テレビ番組で障害者のボランティア活動を行っている方が話された言葉が私の中に残っている。その言葉は「私は今、障害者のボランティア活動に参加させて貰っているけど、本当は私が障害のある方々からボランティアして貰っているんだよね」だった。

現代社会は何かと疲れやすい！私はライオンズクラブの社会奉仕活動に参加する事で少しでも誰かのお役立ちになりその結果として自分自身の心の中が充実感で溢れてくれれば良いと思っている。

最近よく耳にする事がクラブ会員の減少とミニクラブ化についてである。確かにここ数年の未曾有の金融危機等による会員数の減少は仕方ないところでもある。しかし、だからと言ってそのまま放置して置く訳にはいかない問題である。今後、高齢化の問題も加わって益々クラブ会員数は減少しミニクラブ化が進行しクラブの消滅へと繋がって行くのではないかと危惧している。

最後に今回のテーマとした「ライオンズクラブ入会四年目にして思うこと」として、今こそ将来のライオンズクラブのあるべき姿の提唱とそれに向かった強いリーダーシップが必要だと思う。

ライオンズクラブに思う事

L久芳恵子(福岡NOZLC)



二〇〇二年七月に337-D地区有明ライオンズクラブに入会してから早いもので七年になります。今年の一月に337-A地区に転籍しました。初めてライオンズクラブに入会したきっかけは仕事でご縁があったドクターからのお勧めでした。何も解らないままに入会した私ですが、その年に五周年式典があり会員の皆さんと共にとても良い経験をさせて頂きました。その後も337-D地区の名誉顧問・地区役員の方々から多くの事を身近に教えていただきました。二〇〇二年の香港での東南アジアフォーラム、二〇〇四年のデトロイトでの国際大会、その後もマニラでの東南アジアフォーラム、香港での国際大会と参加させて頂きました。その時の思い出は本当に楽しいものでした。全世界の人々がライオンズのボランティア活動という一つのポリシーの基に繋がっている。バッジを確認して笑い合う事が出来る。国の問題で揺れたフォーラムに参加した事もありましたが、その中で多くの事を学ぶ事ができたと思っています。337-D地区在籍中には薬物乱用防止活動の研修も多く受講させて頂き、熊本県より、ライオンズから東京で開催される薬物乱用防止中級指導者の研修にも派遣して頂きました。薬物乱用防止教室は学校薬剤師としても学校で毎年講師を務めています。ライオンズデーの日に朝早く学校前でチラシ配りをする時、献血推進活動の為に街頭に立つ時、自分の小さな力が少しでも社会の為に生かされればと、全世界でも同じ気持ちでライオンズの会員の方が頑張っているんだーと心を引き締めている次第です。

今年の一月からご縁があつて福岡ノーマライゼーションLCに転籍しました。理由は自分にあつたボランティア活動ができればという思いからです。ノーマライゼーションとは一九六〇年代に北欧諸国から始まった社会福祉をめぐる社会理念の一つです。障害者と健常者とはお互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にする。垣根をなくすという言葉も使われています。福岡ノーマライゼーションLCの趣旨には女性も含まれています。私の時代には女性という為の差別

はあまり経験しませんでした。またまた世界中には多くの差別があると思えます。障害者・健常者女性の三位一体のクラブ、福岡NOZで私にできる範囲のボランティア活動をしたと思っています。後進国への学校建設にも多くの興味を持っています。一昨年、幹事職の時に大牟田文化会館で手作りのCSFIIのチャリティコンサートを企画し実行しました。一般の方が三百五十名程来て下さいました。私心がけた事はCSFIIの海外でのボランティア活動のビデオとクラシックコンサートの無理ないコラボレーションでした。お互いが一つになったステージを見て感動しました。一般の方にもっとライオンズのボランティア活動をわかつてほしい。そして少しでも活動にご協力して頂けたらと、そういう気持ちも持っています。

2R誌を読んで2Rの長い歴史と尽力された諸先輩のライオンの方々のご苦労を知りました。

自由な発言とリアルに会員の声を聞こうという雰囲気にも驚いています。まだ2Rに転籍してから半年程の未熟な私ですが、高齢者障害者支援は私の生涯テーマです。その理念であるノーマライゼーション、この言葉を胸に福岡NOZライオンズクラブで自分の身の丈に合ったボランティア活動をコツコツとしていけたらと思っています。会員の皆様からのご指導を仰ぎながら、皆様との調和を取りながら、頑張っていきたいと思っています。最後に私の大好きな言葉です。

リバティ、インテリジェンス、
アワーネーションズ・セーフティ

Liberty Intelligence our nation's safety

「青年アカデミーなんて……」と言う前に。

L徳永修一郎(福岡大名LC)



『自ら謀反人となるを恐れてはならぬ。新しいものは常に謀反である』と言ったのは「不如帰」で著名な、徳富蘆花であります。何を言いたいのかといいますと、未だ一部のライオンにしか認識されていない「青年アカデミー」と呼ばれるものに誤解があるようにも感じられ、またこの存在が殆んどライオンに認知されていない現状ですので、誌面をお借りして少々ご説明させていただければと思います。

「地区にとんでもない委員会が出来そうだよ。若い奴らがクーデター起こして、これからは自分達の思いのままに、地区を動かそうとしてるらしいぜ」……なんて思っている先輩方もいらっしゃるのではないのでしょうか(笑)

先般六月十日(水)に、飯塚市のがみプレジデントホテルで、原キャビネット主導の元開催されました「青年アカデミー準備会キック・オフ」に参加したライオン達(各ゾーンから集まった約二十名)は、そんな事とは露知らず、有史以来初めてであろう地区の試みの出発点に立ち会い、いったいどんな印象を持って帰路に就いたのでしょうか。参加者のお顔を拝見した限りでは、大方が目を見開かせ、戸惑いながらも楽しんでる風に見えました。

委員会設立の要望を提出させていただいたクラブとしては、皆さんに説明責任がありますので、今迄に寄せられた代表的なご質問を次のページにQ&A方式で掲載してしますので、ご興味があるなしに関わらず、是非お目通し願いたいと思います。

先にご紹介した「キック・オフ」では、ウォーミング・アップとしての協働ゲームや、アカデミー設立の趣旨説明、最後に自己紹介をしていただいたのみで、時間切れとなりましたが、次回六月二十九日(月)に再び飯塚で開催予定の『フォーラム・ディスカッション』では、自分にとっての楽しい(価値ある)LCとは？をテーマに(少し時間をかけて)活発な意見交換が出来ればと思っています。

私は、今のLCには「気づき」が必要ではないかと思っています。過去の固定

概念に囚われず、盲目的に組織運営やアクティビティを継続するのではなく、同じ事をするにしても、少しひねったアイデアや発想を柔軟に取り入れながら、皆が知恵を出し合い共に活動する事(協働)がクラブや地区の活性化に繋がるものと信じています。

現状を考えますと、今までと同じやり方でLCが発展するとは考えにくいわけですから、LCの命運は皆さん一人一人の「行動変革」にかかっていると思います。

人は以下の三つに大別されます。気づいて行動を変える人、変えない人。全く気づかない人。

人は何でも、自分の都合の良い様に考えます。見たい様に見ます。言いたい様に言います。他者の言葉を聞く事より、自己が話す言葉に意識は向きます。

人は事実では無く、解釈で動きます。人は頭でイメージが固まると、他の情報が入ってきません。

つまりLCの組織は、「知っているのに教えない」「知らないのに聞かない」……どちらも思考の枠が堅いんですね。これは協働(Meetings)を妨げる行為ではないのでしょうか。どうしたら最短で全員がゴール(豊かなライオンズ・ライフ)に到達出来るのか……解らない人は解っている人に聞けば良いわけで、解っている人は解らない人に教えられる良いわけですね。未だ地区にデビューしていない仲間達の中にも、多くのダイヤモンドは存在する筈です。そんな原石を、我々は発掘して育てていかななくてはならないのでしょうか。

最後に(不遜かも知れませんが)、「自分は関係ない」と考えている会員さんにメッセージを送りたいと思います。

「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」

ご縁あって、このような(存在自体が)素晴らしい組織で仲間になれたのですから、共に楽しもうではありませんか。

青年アカデミーQ & A

キーワード『ライオンズクラブをもっと楽しもう!!』

QUESTION	ANSWER
正式名称はありますか？	正式には決まっていますが、現時点では「337 - A地区青年（又は5年未満会員）アカデミー委員会準備会」です。
設立の経緯を教えてください。	2009年4月19日（日）「337 - A地区第55回年次大会」に於いて、委員会設立議案が要望事項として取り上げられ承認されました。これからの一年間で、運営要領を作り上げていく予定です。
該当する対象者の要件を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ① 1959年7月1日以降生まれのライオンズクラブ会員（2009年7月2日時点で50才未満の地区全ての会員） ② 2004年7月1日以降入会したライオンズクラブ会員（2009年7月2日時点で入会歴5年未満の地区全ての会員） <p>*①②いずれかに該当する会員が対象となります。推定ですが①と②を合わせると、地区会員の約40%が対象者になりそうです。</p>
目的と効果を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ① 人材育成・教育（次代のライオンズを担う若手の育成。地区の役員経験者によるプロトコルや組織論等の講義等） ② クラブの垣根を超えた、会員相互の自由な発言と、社会勉強の場を作ることです。 ③ 組織の活性化（若手ライオンが、ライオンズの本質を理解した上で、組織を良くしていく活動） ④ 「2012年東洋・東南アジア・ライオンズ・フォーラム」に向けての行動部隊としての役割と準備。 ⑤ ミニクラブ化したクラブでは補いきれない新会員育成（教育や帰属意識の高揚）プログラムの実施。 ⑥ 若手会員が「無関心」から脱却し、参加意識を持つ事で会員増強や退会防止が期待出来る（クラブ活動が面白くなるから） ⑦ ライオンズの未来に於ける“ビジョン”を明確に示し、実践出来るリーダーの育成。 <p>* 青年アカデミーの大きな特徴は“クラブの垣根を自由に超える”ことにあります。その結果“いつもと違う顔が見える”“いつもと違う話が出来る”クラブとは違った環境で、楽しく刺激的な新しい形が出来上がるのではないのでしょうか。</p>
具体的にどんな活動をするのですか？	<p>★以下は未確定ですが企画案です★</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 元ガバナーや様々なリーダーの方々と囲み“お話をお聞きする会”（例…元ガバナーの居酒屋トーク）を開催する。 ② 例会訪問ツアーを開催する（訪問により単一クラブから刺激を受け、単一クラブに刺激を与える） ③ 地区やリジョン単位で「フォーラム・ディスカッション」を開催する。 ④ 提言を募集して発表する。 ⑤ キャビネット会議やガバナー懇談会・諮問委員会、リジョン会等に傍聴者として参加して、地区やリジョンの動きを会員に報告し、情報を共有する。 ⑥ YCEやレオクラブの活性化（家族も積極的に参加してもらい、将来の基盤を作る） ⑦ 新しいエクステンションの在り方を研究する（支部クラブや新世紀ライオンズクラブ等） ⑧ 様々なグループ編成（興味がある委員会別・ライオン歴別・業種別等）を試み、マンネリ化を防ぐと共に、研究活動を通じてスキルを高め、コミュニケーションを深める。
世代間の溝が深まるのではないですか？	会合の原則は、年令を問わず「来る者拒まず」であり、勉強会に於いては「講師」、フォーラム・ディスカッションに於いては「ファシリテーター」、遊ぶ時は「共に」の精神で、先輩ライオンの方々には、ご指導いただきたいと思ひます。クラブ五役・委員長・地区役員／委員の育成。
これ以上クラブに委員会を増やしたくないのですが？	クラブに委員会が増える事で、クラブ運営に支障を来すというご意見もありますが、無理に委員会を増設しなくても問題はありません。只、連絡網としてクラブに代表者を選任していただかないと、今後の運営に支障を来してしまいます。仮に、対象会員が在籍する全てのクラブに、委員会を設置したとしても「その委員会に若手を全部取られるから困ります」というご懸念であれば、クラブの委員会ですから、会員が複数の委員会に重複して所属する事は可能だと思ひます。対象会員リストは事前にキャビネットより各クラブに配布してもらい、対象会員は自動的に青年アカデミー準備会の委員となる旨通知していただきたいと思ひます。
もっと詳しく尋ねたいので、クラブに説明に来てくれますか？	ご希望のクラブには喜んでご説明に伺います。



『尊敬』される奉仕と

『親しまれる』紳士(淑女)集団を目指そう!!

L橋山義博(福岡舞鶴LC)



「紳士といわれる資格は、財産ではなく、その言行であり、外見ではなく、その志操である」

こう言ったのは「憲政の神様」と言われた尾崎行雄である。今年一月、上京した折にふと立ち寄った憲政記念館(国会のすぐそば)でこの言葉を見かけた時、今のライオンズクラブが目指すべき方向性が凝縮されているように感じた。つまり、市民から真に親しまれる集団となり、真に尊敬される奉仕活動を展開することが全ての出発点ではないかということである。

ライオンズクラブが世間からどう見られているか。しっかりとした信念を持って活動している限りで言えば、本質的にはどうでもよいことではあるが、一方、最近の重要テーマが会員増強であってみれば、この「世間の目」は大きな意味を持つ。即ち、世間から尊敬されなければ、仲間を増やすことも難しいのである。

そこで、「世間の目」であるが、残念ながら一般的には『金持ちの道楽』ぐらいにしか評価されていないのでないか。本当は素晴らしい事業をいっぱい展開しているのに、PRが下手であり世間に知られていない。「ボランティアを自慢するのはいかなものか」とのご意見もあろうが、自慢とPRは違う。もっと堂々とPRすべきと思う。会員企業から広告を集めたフリーペーパーの発行も検討の余地があると思う。

次に、奉仕の内容がマンネリ化していないか。今の世の中、ボランティア活動に目覚めた個人や集団がいっぱいだ。『継続は力』とも言うから同じ活動にこだわりのもいいが、たまには世間があつと言うような『すごいこと』を企画していいのではないか。せつかく全国に十一万三千人、337-A地区でも四千八百人の会員がいる。スケールメリットを活かした『すごい企画』や真に求められてい

る『ライオンズクラブならではの奉仕』を検討する時期にきていると思う。清掃奉仕やチャリティーコンペもいいが、もっと『気高い』奉仕、たとえば、シンクタンク等との連携による各種提言活動、低額住居提供による離島・僻地出身者の大学進学支援、充実した留学生会館の建設・運営などもっと本格的に取り組むテーマを検討すべきではないか。若手有志による「奉仕内容検討委員会」(仮称)の発足もよい。

天に唾することにもなるが、最も大切と思うことは、会員の『質』の向上である。会員増強を求めるあまり資格審査が甘くなっていないか。だれでも加入できる気安さも必要ではあるが、資格審査が厳しいからこそ会員としての『誇り』や『自覚』も高まる。そして連帯感も醸成される。入会希望者の人となりや社会人としての実績等を単一クラブだけの判断に任せて大丈夫か。百年に一度と言われる世界的不況下。会員増強がままならない中で、潜在的な『質』の低下を危惧するのは私だけだろうか。ライオンズの持続的発展のために、もっと高度な審査機関と責任体制の構築が必要ではないか。

最後に組織論として、単一クラブ会員数の最低ラインを五十人程度にすべきと思う。厳しくなる一方の社会・経済状況下、みんなが少しずつ力を合わせるとしても最低五十人ぐらいいはないかと、パワーが落ちる。例会も少人数では寂しい。キャビネットの積極的な指導を期待します。

「結成四十周年記念式典をおえて」

大会幹事 L森 修二

去る四月四日春爛漫の佳き日に我が福岡西ライオンズクラブは、結成四十周年記念式典を福岡西鉄グランドホテルに於いて、約二百名の方々のご出席をいただき無事開催することができました。



提案により、我がクラブ唯一のチャーターメンバーでありますL太田雅章の卒寿の御祝い記念式典で行えたことは、会員一同喜びにたえません。

これからの益々のご活躍とご指導を願ってやみません、またL安川・L山本(雄)・L成田三名の終身会員の推薦ができましたことも重ねて感謝の意を表したいと思います。昭和四十四年結成以来「We serve」をモットーに地域社会の発展の為、奉仕活動に努力した結果千二百三十三件、総額一億四千九百万円の様々なアクティビティを行っております。

これも結成四十年の歴史を感じるものであります。時代の変化とともにライオンズを取り巻く環境は、

厳しいものがありますが、四十年を通じて点として、四十五年、五十年に向けて会員一同ライオンズ高揚に精進して行く所存です。四十周年記念式典開催において沢山の関係各位のご努力と、ご指導に感謝しつつ

： [We serve]

相互理解と思いやりーメイアイヘルプユーー

2009年〜2010年 会長 L光澤 智吉

二度目の会長職をお引き受けすることになり複雑な気持ちであります。一つは、喜寿を過ぎて、という気持ちと、クラブの現状に対する反省です。不況の中で、会員の減少が続く、当クラブでも七十名近く在籍した会員が期首四十名で出発せねばなら酷しさです。

お引き受けした以上、クラブ活性化のために、先ず第一に会員増強。そして会員相互の連帯の強化に今期会長として会員と一緒にじっくり取り組みたいと思います。

会長提言を「相互理解と思いやりーメイアイヘルプユーーと致しました。

無関心な人の集合であつてはならない。お互いに相手を思いやり何かお役に立てますかという自然な気くばりの出来る組織作りを心掛けていきます。

入会したけれどもライオンズクラブに溶け込めず、温かい人付き合いをしないまま、退会する人のないよう相互理解の努力をしたいと思いま

す。そのため会員卓話を復活します。会員同士自分を知ってもらい、他の会員を知るためのPRの場づくりです。何も知らないでは親近感は生まれません。会員卓話を情報交換の場にします。

皆様のご指導とご協力を戴き行動を起こします。クラブ活性化のために何をしたらよいか具体的な提言と積極的な参画をお願いします。幸にして今期の五役は私を除き若い積極性に富んだライオンに就任して戴くことができました。クラブで決定した事はまとめ役として実現できるように頑張ります。お互いに理解し合い「生かし生かされる」共助の組織づくりが今期の念願です。

例会に出席しクラブの一体化を図ることにどうかご協力下さい。最後になりましたが、ライオンズクラブの原点に帰り、奉仕活動への積極的な取組みを一体化したクラブ全員実践するように努力します。

金銭アクトに偏することなく、皆で汗を流し奉仕の達成感を共有したいと思えます。

一所懸命な思い

L 小崎 弘之

今期福岡大濠ライオンズクラブで、二度目の会長をさせて戴く私は、昭和六十三年十一月八日大先輩のL菅原のスポンサーで入会して早二十一年になります。

昭和六十四年一月に昭和天皇が崩御され元号も平成になりましたので、昭和も最後の入会者の一人になります。

私が最初に会長をさせて頂いたのが、我が福岡大濠ライオンズクラブの十九期目でしたから今期が二十九期目で丁度十年振ります。

来年が三十周年を迎える節目の年に当たり、今回も前回同様節目の前座を務めることとなりました。

福岡大濠ライオンズクラブの二十周年には私の職業を活かして記念誌「福岡大濠ライオンズクラブ」48人の貌」を作ったのが、思い出に残っています。

撮影から、原稿集め等長い時間が掛かりましたが、L木村の協力で思い出の記念誌になりました。

我が福岡大濠ライオンズクラブも十年前は四十三人の在籍でしたが現

在では三十人を切っております。

今期の事業につきましては来年三十年を迎えるに当たり会員増強を最も大切な事業の一つとして認識しております。

がしかし社会が男性社会から男女共同参画社会へと変わり、女性ライオンズクラブ会員は増えている事実は有るものの、一方ライオンズクラブに入らなくてもボランティア活動が出来た社会になったことが会員の減少に繋がったとも考えられます。

現在のような百年に一度、と言われる経済危機だからこそ、ライオンズの社会奉仕が必要とされ、PRも出来るチャンスでありましょう。

マスコミが伝える暗いニュースばかりでは国民は希望がもてず元氣になれませんね。

よく言いますよね、子供や社員を育てるのに褒めて育てることだつて。これは、私も出来なかった一人ですが、

「みんなで頑張ろう!!」と、先頭切つて走らなければならぬマスコミが文句や愚痴ばかり唱えて、前向きな

姿勢を示さないのも残念に思うわけです。過去における先達の戦後復興への努力、苦勞を考えれば、比べものにならない程の頑張りを見せていたわけであり、その結果として我々は今の日本に暮らせているのです。

そうです、私が言いたい事それは、今年の私のテーマ「感謝」です。

今、生かされていることに感謝です。クラブの会員が退会される原因には、そのクラブ内での疎外感の為、居心地が悪くなって去っていくという事も考えられるわけで、そこに引き留める会員同士の絆が問われるのかもしれない。

もっとと会員同士が互いを認め合いい「お陰様で」と感謝し合えるクラブ運営を願い、目指したいと考えております。

私たちは感謝を忘れがちな毎日です。朝起きて生きていることに感謝して、奥さんに(ご主人に)感謝して、子供に感謝して、ご先祖様に感謝して、今日も生かされていることに感謝して、そして少しだけ、人のため

になる事をさせて戴いて、このところがライオンズでの奉仕活動です。私の座右の銘は「我が道より我をいかす道なし故に我この道を行く」で仕事に頑張つてきましたが、今はリタイアして、現在第二の人生を生きています。

そこで、今感じている生き方は、今からの人生、「一生懸命」ではなく、「一所懸命」に生きることです。

若い時は「一生懸命」で疲れることを知りませんでした、第二の人生で、これではエネルギーが続きません。

世界を相手に社会奉仕をしている、ライオンズの一員であることの誇りをもって、身の回りの小さな声に「一所懸命」に込めライオンズを實踐し、社会奉仕が出来る喜びに感謝して、今期の大役を進めて参りたいと思っております。

世界を相手に社会奉仕をしている、ライオンズの一員であることの誇りをもって、身の回りの小さな声に「一所懸命」に込めライオンズを實踐し、社会奉仕が出来る喜びに感謝して、今期の大役を進めて参りたいと思っております。



20周年の式典を終えて

結成二十周年記念式典大会実行委員長 山本千鶴子

20周年を迎えるにあたり、どんな式典にしようかと実行委員会（会長経験者、第一、第二、第三、副会長、幹事、会計）での話し合いが行われました。いろいろな意見が出ました結果、今の経済不況下での式典なので出費を最小限におさえ、女性クラブらしい楽しい、又、時代にあった式典にしようということに決まりました。

◎登録料は一八千円にする。

◎記念誌は作成しない、DVDに残す。

◎お客様に楽しんでいただく。など、地球環境、省エネ、エコに配慮した式典と決定いたしました。

懇親会での催し物は会員による、お琴と尺八の演奏と、日本舞踊に決まりました。

平成二十一年二月十七日、ホテルオークラにて開会、福岡ベイシティ21LCより贈られました、満開の桜の花のスタンドと会員がご来場のお客さまを美しくお迎えしているのを見ていけると胸が

熱くなってまいりました。

20年前のチャーターナイトのとき式典で当時の国際会長Lウーロードより直接認証状を頂きました。

30名でスタートした桜ライオンズクラブの会員はうれしく感激したのを昨日のように思い出しました。

今、経済社会は、百年に一度の不況をむかえており我らがライオンズも全世界で会員の減少が起きております。「数は力なり」と申します私たちも、頑張つて会員増強に努めたいと思います。

式典ではいろいろと失礼なことや、ご不満が多々あったことと思いますが同志に対する寛容のお気持ちでどうぞお許しいただきますようお願いいたします。

ウィサーブ!!



20周年記念式典



国際会長、感謝状授与



また会う日まで



新竹慈恵 LC 記念品贈呈

「持ち出し例会」報告

L 田中 雅美

四月二十五日、土曜日の午後一時、博多駅を九州ツーリストのバスで出発。乗り合わせたのは、L行徳、L中村、L吉永、L波多江、L松永愛子、そしてL田中雅美の六人。本年度の持ち出し例会は呼子。イカの活造りで有名な港町です。

途中、波戸岬と玄海エネルギーパーク見学。波戸岬では名物のサザエの壺焼きを食べましたが、大きくてかなりお腹がふくれました。ここで店の女将さん相手にL中村舌好調。話題は皆さんお察しください。

今回の宿、大望閣で出席予定の十五名が勢ぞろい。食事はさすがが呼子、イカを始め数々の魚づくし。ただ私は波戸岬で食べたサザエがまだ腹に残って、それでもおいしいので食べたものだからメタボがまた進行してしまいました。食事の後は近くのスナックで二次会を予定、何人行くかなと思っているとなんと全員参加。ここでもL中村、ホステスさん相手に大活躍。「今日は西野さんがおらんから」と分けの分らん事を言いながらの行動でした。他の会員もかなりリラックスで、まるで「スナックひろこ」にいるよう。

翌日はゴルフ組と観光組に分かれて行動。私は前日と同じく、九州ツーリストのバス

で観光に出発。そうそう、出発前にこれも有名な呼子の朝市見学。私は魚ではなく甘夏柑を買ったけどほんと安かった。昼食の前に男滝と女滝の二条からなる見返りの滝（L中村ご推奨）や、珠簾の滝とも呼ばれる清水の滝を見物し、今日のメインである鯉料理の店、小城温泉開泉閣へ。鯉こくと鯉の洗いを堪能しました。鯉こくは眞子持ちでしたが、この時期しか食べられない珍しいものだそうです。水田羊羹本舗で羊羹を土産に買って帰路に着きました。道がよくなったおかげでしょう、いろいろ回った

割には午後3時過ぎには帰り着きました。今回の持ち出し例会、出席率としては残念ながら低い数字に留まりましたが、日常を離れた雰囲気の中で接する機会を持つことは会員相互にとって大事なことであり、実施した甲斐はあったと思ってます。私と同室の人は軒で大変、たつたと思えます。そういうえば、L宮田が、誰かの軒で一睡もできなかったとぼやかれてたな。一泊にこだわることはないと思いますが、観光や研修を含めたスケジュールで、ぜひ持ち出し例会を継続していつてほしいと思います。

会員百人以上のクラブが全国で数少なくなった。小子高齢化の時代において今後ミニクラブ化は益々加速して参ります。歴史を有するクラブが消滅して行くのを聞く度、何で私共は手助けやアドバイス、協力が出来なかったのだろうという後味の悪い感じがします。もちろん当事者クラブの努力不足もあつたでしょう。しかし大きな要因にメスを入れない限り、ライオンズクラブ存亡に関わると思いの気持を持っています。ところがライオンズクラブ全般に危機意識が希薄であると言えないでしょうか。過去の栄光をそのまま継承している部分が多くあります。

ライオンズクラブ会員の平均年齢は年々高くなり超高齢化に向つております。現在だけで判断してはいは大変な事になります。将来の五年後、十年後、十五年後のライオンズクラブを推測してみてください。今のミニクラブが存在しているとは思えません。ミニクラブは超ミニクラブ化するのです。何故かと申せば六十才の人は七十才、七十才の人は八十才と年を取るからです。体は不自由になり、労力奉仕は無理は効かず、お亡くなりの方もおられます。後十年もすれば合同事務局も運営出来ないうでしょう。福岡にライオンズクラブは幾つあります。エクステンションをしてクラブを造るのが美德と、産めよ増やせよと造り過ぎました。ミニクラブがミニクラブを造れば両方もしくはどちらかが衰退するのは当然です。地域によつて無風地域に造るのはよいでしょうが、ミニクラブだらけの地域に造るのはレベル低下と首を絞める事になります。

会員の質が極度に落ちたと嘆きの声が頻りに聞かれる様になりました。それはクラブを造り過ぎミニクラブで弱体化した為、安易に無審査に近い状態で誰でも入会させた悪循環にあります。それを認め指導したのは誰でしょうか。レベルが低いのは、入れと言つてから入会しただけで、ライオンズクラブの事も奉仕の精神も理解せず、クラブ自体も沈滞し活気が無く、共に研摩しようと言う情熱に欠落した事も要因ではないでしょうか。それならミニクラブ同士合併すれば良いと思いますが、これもまた簡単には行かないのであります。ライオンズクラブは We Serve のモットーで同じなのですが、そこに信条や感情の微妙な違いにより、合併しても半分の相性を把握しない限り難しいと思えます。しかしその大変な仕事を遣り遂げるのがリーダーとしての役目ではないでしょうか。今までのリーダーは未来を見据えた改革は殆ど着手していません。それは一年を無事に終らせて点数を稼ぎ国際本部より表彰を求め人が、改革や未来は見えませんが、目先の立派な事を遣つた様に見えるが、実際はライオンズクラブ崩壊を早めている事に気付く事を私は声を大きくして提唱します。

ライオンズクラブ変革提唱

L 鳥谷 哲弘

こいでコーヒープレイクとして魚取り

「広田 一孝」

私は最も緩やかな成長年令の時代を御笠川中流域の那珂町で育った。福岡市近郊の自然溢れる田園地帯であった。

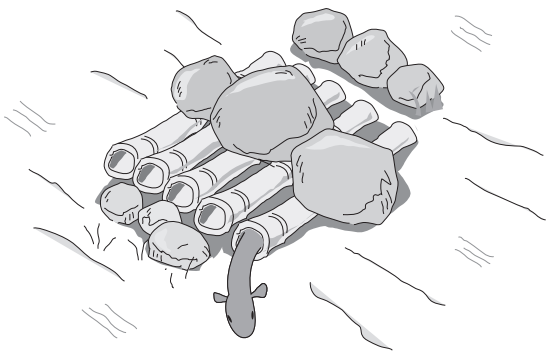
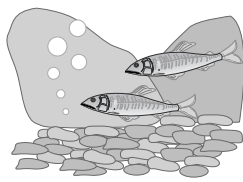
御笠川支流の諸岡川にはドジョウやフナが沢山いてシヨウケで掬うとすぐバケツ一杯程捕れた。フナもいたる所に群れをなしていたがすばしっこくて網ではなかなか掬えなかった。小学生の頃近所に魚を手づかみで獲る青年がいて時々小川に連れていってはフナを獲ってくれた。そのうち私も見よう見真似でやってみると、大きなフナを捕まえることができて跳び上がらんばかりにうれしかった。それから好きこそ物の上手なれで魚獲りが好きだった私は瞬く間に上達した。草陰に隠れているハヤやフナを手づかみ獲りをするようになった。いつか女の子も連れて数人で川へ行った事があったが、私が獲った魚を入れたバケツを見せると「ワッ。すごい手で獲ったのホントに？」という黄色い声

が耳の底に残っている。

鯉獲りは古賀の大根川水系に行くが、清流で山中の養殖池から逃げて来たのか何匹も泳いでいる。ある時友人達と鯉獲りに行ったが網を使っても一匹も獲れなかった事がある。確かに五六匹はいたのにもって川岸に立っているの一匹の鯉が泳いできた。しめたつ。一匹は獲れると思っていると何と網の破れ目をすり抜けて逃げてしまった。そこで川上に行って泥をかき回し濁らせて網をしかけるとおもしろいように獲れた。あつという間に四十〜六十センチの大物を十匹近くも獲った事がある。これはなぜか柔道時代の親友と行く事が多い。家ではいつも天然ウナギを食している。従兄弟が竹製のウテボにドジョウを入れて獲りに連れて行ってくれたおかげで私はこれまたウナギ獲りの名人の異名をとるようになった。今ではエサがとれないので竹筒を利用して捕っている

がおもしろいように捕れる。汽水域に七十センチ程の孟宗竹の中の節を鉄筋で打ち抜き、五・六本を凶のように川底に置き石を載せておく。ウナギの習性を利用して獲り方だが大物が獲れる。この話をすると大抵の人は身をのり出して聞くがなぜかウナギ獲りと山芋堀りは空手仲間が多い。またライオンズクラブでも同好の士ができた事は望外の事である。

クラブで呼びかけて魚釣り獲り(魚鶴鳥)クラブをつくりたいと思っている。皆さん、是非参加して下さいネ。



【出会いを愛しみ、出会いを育み、奉仕を楽しむ！】

会長 L高崎 久男

世界の政治経済は歴史的な「大迷走」

と大きな「うねり」の中で改革を迫られております。それは大きな一つの生き物もがき「脱皮」しているかのようにあります。われわれに求められる「未来社会」は矛盾のない「自己完結型社会」ではないでしょうか。人も、物も、心も、未来社会に矛盾を残さない社会システムの構築がわれわれ「ライオンマン」達の使命の一つとも云えるでしょう。

当福岡大樹ライオンズクラブも三年を一区切りで考えますと第四期を迎え「第二ステージ」として、ますます真価が問われる年度であります。歴史的な大きな時代の「うねり」は改革へのメッセージであり飛躍のチャンスであります。改革とは必要に迫られ行うものではなく、自ら時代を見据え率先して改革を行い、それが出来るものだけが「生き残れる」と思います。それぞれの「立場と利益と個性」を尊重し一丸となって役割を果たさなければなりません。

世界の情勢がいかに変わろうとも奉仕のころは「普遍的」であり、またその重要性は高まる一方であり、同時に積極的な「奉仕活動」と「内容の充実」が

不可欠な時代であります。

当クラブは、まだまだ微力ではございますが、「会員、協賛会員、他クラブ」との出会いと交流を積極的に実施し、また、すべての出会いを「愛しみ、育み」更なる奉仕と真のライオンマンの原点とは何か??? 「はじめに出会いありき、そして奉仕あり」???を問い、学び、「奉仕を楽しむ」、共に役割を果たすことが出来れば幸いです。

ライオンズクラブの「スローガン、モットー、ライオンズの誓い、ライオンと呼ばれる人、国際協会の目的、ライオンズ道徳綱領」等々、それぞれがライオンマン達への膨大なテーマであり、他の分野においても広く共有ができ忠実に実践することで社会貢献出来るものと確信いたします。

私の好きなことの一つは、出会い「人と物と情報との出会い、発想との出会い」です。ライオンズには、その「出会い」があり、「奉仕」があります。好きなことには「一懸念命」になれない、私でございませうが皆様方とお会い出来る機会をいつも楽しみにいたしております。

「幹事を経験して良かった」

2008-2009年 幹事 L島田 光子

ライオンズクラブに入会して間もない私のような者が、何も分からないまま幹事という役をただただしくも何とかな年務めさせて頂きました。ひとえに会員の皆様が温かく見守ってくださったおかげと感謝しております。

この一年を振り返って、まず感じることは、これがライオンズの伝統かとも驚きましたが、「幹事とは何と出ることが多いものか」ということです。そして、改めて気付かされましたが、例会や諸行事その全てが多くの方々の周到な準備があつてはじめて成り立っているということなんです。私は今までこれらに漫然と参加していました。歴代幹事さんのご苦勞を学んだことは私にとつての大きな収穫でした。

月に一度の幹事連絡会では、他クラブの方々の活動や情熱に感心することが多く、四半期に一度のガバナー諮問委員会・リジョン会でも、懸案事項に対する皆様の高い問題意識と活発な意見交換に啓発されました。しかし、諮問委員会・リジョン会での討議がその後の運営その他に特に反映された景色が私には感じられません。座談会で終わってし

まっでは元の木阿弥です。これでは改革に時間がかかるものだと残念に思いました。他クラブ訪問では、同じライオンズでもそれぞれのクラブで随分カラーが違うものだと感じました。これも収穫の一つです。

そして、我がクラブですが、諸先輩方は見識深く、情深く頼もしい方ばかりです。そして、うれしいことに、皆さん「福岡舞鶴」が大好き人間ばかりと、お話を端々に感じます。しかし、自身の反省も踏まえて言えば、会員増強の為に「もつと楽しい例会」を目指すべきだと思えます。今日は誰に会えるかな。そして、どんなお話が聞けるかなと、ワクワクして出掛ける例会が目標です。それが以前より私が何つておりました長い歴史に裏付けられた「奉仕と社交のライオンズ」に近づけるものだと思っております。

幹事という役を通して、いろいろな事を勉強させて頂きました。まだまだ何のお役にも立てませんが、ライオンズクラブの一会員として誇りを持って奉仕活動が続けていきたいと決意を新たにしています。

福岡城東ライオンズクラブ

「青少年健全育成」アクト「福岡城東ライオンズクラブ旗争奪少年野球大会」

「太田 健一」

「福岡城東ライオンズクラブ旗争奪少年野球大会」は、今年第二十三回目を迎えました。

第一回大会が開催された時が、昨日のように思い出されます。第一回大会開催にあたり、応援リーグ「福岡少年野球サンデーリーグ連盟」と打合せ、「開会式」「親善試合」「表彰式」等について取決めスタートしました。

「一」試合球の提供

「二」親善試合は、LC会員選抜チームと、三・四位合同チームと行なう。

「三」表彰式は、「優勝チーム」「準優勝チーム」に優勝旗・準優勝旗・メダル等を渡す。

第一回大会表彰式で、私は、「準優勝チーム」の少年達に、メダルを渡しました。その時、「今日は残念だったね、次回は頑張ろうな」と励ましました。野球少年は、「はい」と返事し、涙をポロポロ流し悔しがりました。

毎年「福岡少年野球サンデーリーグ連盟」会長・各チームの監督・コーチをはじめ、父兄等お世話をする方々の熱心さにつれ、少年達は、新チームによる第一回大会一生懸命に試合に臨み、応援して感動する場面が数多くあり、来年も開催企画しようと考えを新たに、今年第二十三回を迎えました。

平成十九年度(第二十一回)打合せの中で、二十年も開催しているのだから、現在「プロ野球」で

福岡玄海ライオンズクラブ プロとアマチュアの違い

「松永 俊彦」

先日、ある会社の社長にプロとアマチュアのの違いを尋ねられ、私は「お金をもらっているか、もらっていないかの違いではないですか?」と答えたと、その社長は次のような事を話してくれましたのでご紹介させていただきます。

「今年一月、珍しく大雪が降り続き、その夜、妻は「翌朝のお迎えのハイヤーはきつと遅れるでしょうね?」と言ったため、私は「相手はプロだから遅れることはないと思う」と答えた。しかしながら、その予想は両方とも外れた。翌朝ハイヤーの運転手より自宅に電話があり、

「いつもの時間にお迎えに行った方がよるしいでしょうか?それとも会社いつもの時間に到着するようにお迎えに行った方がいいのでしょうか?」と連絡してきた。これがプロの仕事である。又、当日、会社では数人の社員が遅刻して出社してきた。しかしながら一方では、通常より二時間も早く早朝五時頃に家を出て出社していた社員もいた。同じ社員で

もこの違いはどこから生じるのか、雪は前日から降り続けているのだから翌朝の交通混乱は容易に想像できたはずである。これがプロ意識の違いである。顧客のニーズやこれから起きることに対して最善の方策を考え、対処していくこと、顧客満足のために目に見えない努力を重ねることがプロの仕事であり、お金をもらっているからといってないかの違いではないのだよ」

とその社長に言われ、それ以降、自分自身の仕事のこと、ライオンズクラブの奉仕活動のことを改めて見直すきっかけとなりました。

昨年以降、世界的な金融危機、経済不況のなか、暗いニュースが続いており、時代は未曾有の転換期を迎えています。このような時代だからこそ、自分に何ができるか、ライオンズクラブで何ができるかを考え、手を取り合って地域社会に貢献していく必要性を強く感じています。

ライオンズクラブに入会して

井上 修造

私は、平成二十年十二月に福岡誠ライオンズクラブに入会しました。井上修造と申します。

何も分らないまま、会長し亀岡に推薦していたとき、入会させていただきました。それが、もう半年をすぎまして、今思うこと・感じていることを書かせていただきます。

これまでの私の生活エリアと申しますか、毎日の行動は、自宅・会社・取引先・子供の学校などの人との交流でした。自分が学生の頃からいまままでIT関係の会社に約三十年間勤めてまいりました、おのずとその関係の方々との付き合いがメインでした。まあたまたま、妻・子供たちの友人の家族とのお付き合いも稀にあつたくらいです。お酒を飲めば、会社・上司等々の悪口ばかりで、建設的な意見等は、ありませんでした。ところが、ライオンズクラブに入会させていただき、そのメンバーの諸先輩方たちは、様々な、お仕事をされておりますし、それまで私の知ることのない業種の方々とあり、それぞれのご意見も事情も違った方々で、感銘を受けることが、多々あります。

会長し亀岡自ら、例会の中でも外でも率先して、引っ張って行く非常に強い会長です。また、他クラブとの合同例会の提案とか、新しいクラブの運営の展開などを考えておられます。また、現実が第一ともいつも言われています。

私が社会に出て、三十年間は、自分の周りの狭い範疇でしか、行動していなかったことを痛感しております。この半年で、様々な方々とお会いして、様々な考え方を聞きまして、反省をすると同時に、メンバーの皆様から大変重要な役割を頂いた気がしております。

社会に何か奉仕ができるのだろうか、自分ができるところか、いろいろ考えて、さらに勉強をしなくてはならないと感じました。

私に、なにができるということはありませんが、これからは、ライオンズの諸先輩の皆様のご意見をよく聞かせていただきよりいっそう精進し、メンバーの「ロウケロの精神」をいつも心の中に持ち、頑張る所存であります。

諸先輩の皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

第四回全国シニアフォーラムイン神戸に参加して

永井 光清

五月十二日から十三日にかけて全国シニアライオンズクラブ連絡協議会主催第四回全国シニアフォーラムが神戸の地で開催され、加盟する全国の二十一のシニアライオンズクラブから二百四十名を超える参加者があり我がクラブから五名参加しました。

「ライオンズ」シニアいきいき輝こう」という大会テーマのもと、全体会議では、舟橋シニア、神戸シニア、そして我が福岡シニアの代表三クラブの活動報告があり、会長し津田恵美子が二百四十名を超える参加者の前で活動報告を行いました。

大会基調講演では、俳優の大村崑さんが、「いま幸せでつか」というタイトルで高齢化社会における幸福論を崑さん独特の個性ある講演で会場にお笑いの渦がまいていました。崑さんの講演を聴いて勇気づけられライオンズクラブに入って活動することの幸せを感じました。

パネルディスカッションでは大村崑さんもパネラーとして参加され、335地区の元・現ガバナー五名と

共に、「高齢化社会における奉仕活動の今後のあり方」をテーマに熱いディスカッションがされました。時折会場から共感するざわめきがあり全国のシニアLCに共通する課題と感じました。フォーラムの後、「シニアライオンズとして生き生き輝き続けよう。いつまでも」という神戸宣言を採択して盛会裡に終了しました。

懇親会では、声楽家の前川裕美さんのピアノ演奏と歌の披露がありました。彼女は小学生の頃に進行性の弱視「網膜色素変性症」と診断され、視力を失っていく中にあつても音楽家になる夢を持ち続け今日に至つてあると紹介されました。「網膜色素変性症」を罹患している人が、全国に五万人いると推定されていると本人からの説明があり、この難病に苦しむ人々を救うべく設立された「網膜変性研究基金」に寄付をお願いされました。ライオンズクラブが取り組んでいる「CSFII」に呼応するものであり各クラブで取り組まれることを確信しました。

感謝

2008-2009年 会長 高津 英子



会長提言として、
「感動・感謝・和
の奉仕を掲げ、早
いもので一年が終
わろうとしていま

す。初代会長し松井和子が福岡花ライオンズク
ラブと命名され、まるであじさいの花の一つ一
つの額のように一人一人の会員の皆様が集まり
大きな大輪を咲かせ、十周年を迎えようとして
います。

この一年を振り返って見ますと、福岡花ライオ
ンズの継続事業として、変動の激しい二十一世紀
を担っていく青少年が豊かな人間性、社会性を身
に付け、国際社会に生きる日本人として平和を愛
し、世界の国々と手を結び活躍して欲しいとの目
的で「中・高校生弁論大会」を行ってまいりまし
た。おかげさまで九回目を終えることが出来まし
た。今年も優秀な子ども達が熱く論じ、奮闘し、
実力を発揮しました。浮羽探究真館高等学校二年
生の小柳貴嗣君は二回弁論大会に挑戦し、今回は、
見事に最優秀賞を獲得し、副賞である韓国研修旅
行に参加しました。

今年はその韓国研修旅行時期に、北朝鮮のテポ
ドンニュースが流れ、心配いたしました。ちょ
うどその頃、防衛協会に携わっておられるし濱田
のご紹介により、韓国大使の上ノ谷様との出会い

がありました。最優秀賞を受賞した小柳君は大
使館内のお話、航空自衛隊などのお話を聞き、感
動し、防衛大学に行きたいとの夢を膨らませ、帰
路に着きました。また、韓国の明文化院の郭明子
先生をはじめ、葉玉先生、山本みち子先生ほかい
ろいろな方々との交流から奥深い歴史や文化を
学ぶことが出来、何度訪れても楽しく、心のふれ
あいがとても心地よい楽しい旅となりました。

十二月二日にチャリティゴルフ大会を開催い
ました。当日は五十二組もの参加があり、十
二月とは思えない汗ばむ天候に恵まれ、皆様に喜
んでプレーを楽しんでいただきました。結果と
して皆さんの収益を上げることができ大成功
のうちに終わりました。これも偏に沢山の皆さま
のご参加のお陰と深く感謝申し上げます。

今年はいエローフラッグという名誉な賞もい
ただくことが出来ました。これは福岡花ライオ
ンズクラブ全会員が一〇〇〇ドルをLCIFに
寄付することによっていただくことが出来る賞
であり、皆様の甚大なるご協力によるものです。
最後になりましたが、多大なドネーションをして
くださいましたし松井和子、何事にもてきばきと
こなしてくださった両腕、幹事・会計、そして各
委員長、会員の皆様の惜しみないご協力に感謝の
気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

「エコ」は地球を救う

達木 純二



昨今の新聞・
テレビ・雑誌な
どマス媒体に
「エコ」関連の
記事・ニュース

が目立つ。YAHOOで「エコ」を検
索すると、なんとその検索した件数
は二億件を超える。

地球環境の悪化が叫ばれて久しい。
地球温暖化、自然破壊、資源減少…。
我々の次の世代に美しい地球を残せ
るのか。世界規模で、また身近なと
ころでは市民運動として「エコ」に
取り組む姿があちこちに見かけられ
る。

政府が提唱する「エコポイント」
もスタートした。まずは家電関係が
中心だが、将来的には「エコポイン
ト対象商品」を拡大することも必要
だろう。

「エコ」関連の企業も目立って来た。
最近驚いたのは、太陽光を利用した
ソーラーシステムだ。今までの大掛
かりな設備ではなく、窓枠にフィル
ムを貼るだけのソーラー充電。また
ソーラー式外灯やソーラー式携帯充

電器など、太陽光を取り入れるシス
テムがコンパクト化して来ているの
だ。我々の生活も、今からますます
太陽の恵みを十二分に取り入れる生
活に変わっていくのだろう。

博多湾に大量発生したアオサが博
多湾の生態系を破壊するとして、福
岡市は多額の経費を使って、その除
去活動をしている。しかし、アオサ
に含まれる豊富なミネラルや食物繊
維に着眼し、アオサを利用した堆肥
を作ったり、食べる環境活動として
アオサカリントーを作ったりしてい
るNPO法人がある。これもまさし
く「エコ活動」なのだ。

こうしてみると「エコ」は身近な
ところから始められる。子供たちと
博多湾のアオサ取りに行つて、美味
しい食べ方を研究することもひとつ
だし、通勤を車から自転車、徒歩に
代えるのもそのひとつだし…。

我々、ライオンズクラブも、各ク
ラブとして「エコ」に積極的に取り
組み、次世代に美しい地球環境を残
す活動も必要なのではないか。
「エコ」は地球を救う。

ライオンズクラブに入会して

L 中川 昌和

今年の二月に福岡フレンズライオンズクラブにL立花のスポンサーで入会しました、中川と申します。宜しくお願い致します。

まだ入会したばかりでライオンズクラブの活動もよく解らない私ですが、先輩方の暖かい指導の下に楽しく活動している毎日です。

ライオンズクラブに入会して様々な職業の方、経営者の方が沢山おられ色々勉強になることが多く、大変有難く思っております。

私も福岡の各地域で鮮魚小売店を店舗展開していく中で又、地域への奉仕とゆう形で各方面の方々へ微力ではありますが、尽力してゆきたいと思っております。来期は担当する役務も頂きますので、ボランティア活動に力を入れ頑張っていくつもりです。

最後に例会には毎回欠かさず出席しており、これからも皆様と一緒に楽しく活動し、仕事もボランティアも両立させよりよきライオンになれるよう努力してゆきます。

本当にまだまだ未熟者ですが、精

一杯頑張つて本物のライオンになって行きたいと思っております。

皆さん一緒に頑張りますよう。



Lionism

最近思うこと

L 五十嵐 実

皆さんは今、自分が静かに何かじっくり考えることがあるとき何を一番感じますか？

私は今年還暦です。還暦を迎えるとクラス会が久しぶりに開かれます。

そこでの話題は、この早すぎる時間の経過にどう抗って何を後の余生楽しんで生きるかということでした。

ボランティアを志願する皆さんはライオンズというかもしれません。

我が同級生は学生時代にやっていたラグビーを体力のある限りやりたいとか、吹奏楽団がどこかにあれば属

してあの頃に戻りたいとか、美術部の連中は再び絵筆を握りたいとか、

そんな若かりし頃のことばかり夢みたいなきことをたまうのである。所詮こうやって飲み会でお互いの顔合わせをして健康状態の確認を仕合う。

そして決まって自分の家族の近況報告である。そこで「あー俺はみんなと同じように年を取りみんなと同じように後の余生を送るのだな」と

殆ど自分が人生の大半を働く場である会社で時間を過ごしたことの結果として、あるものは感慨深げに振り

返り、良くぞ今日までやり遂げ、家を守ってきたものだと思うものがある。

反面、これで俺の人生はあと少しで終わるのか、何か今から一番したいことに情熱を燃やせないのかと酔いのついでで議論したくなったりする。音楽を聴く、絵画を鑑賞する、スポーツを観覧する。つまり体力的

に受動的な余生は可能でも、今から自ら楽しむ充実した余生はなかなか見つからないとみなが思い変に納得している。

健康であることだけで感謝するもの、多かれ少なかれ、いずれは生まれる前の世界に戻るだけだから六十歳まで生きてこれたことに感謝してそれ以上のものは欲というものはないかと結論づける次第。

生き生きしたこれからの余禄の人生で手ごたえを感じる何か、もしくは自分探しを遅すぎることが始めてみたいのであるがどなたかヒントをいただけませんかお手遅れであるが最近思っている。

最近思っている。

福岡筑前ライオンズクラブ

福岡県身体障害者体育大会に参加して

小野 利喜

私はLCに入会して、まだ二年弱と新米でありませんが、五月十日に開催された第四十七回福岡県身体障害者体育大会に参加し大きな感動を覚えましたので、お話ししたいと思います。

この体育大会には当LCが毎回協賛しており、先輩の方々からこの活動でLCの奉仕の心が芽生える人が多いとの話を聞いていました。今大会には六十一の選手団が参加し、陸上、水泳、アーチェリー、卓球などの競技が行われました。当日は

だ春なのに気温が高く、ちよつと動いても汗ばむくらいの気候となり、選手の手が心配でしたが、身体障害のハンディを背負いながらも、一生懸命に走ったり、飛んだり、投げたりする姿は私に素晴らしい感動を与えてくれました。LCの活動は成績上位者に金、銀、銅のメダルを授与し、表彰することですが、そのときの嬉しそうな眼差し、仕草や、表彰台での記念撮影での満面の笑みを見たとき、自分自身にも自然と喜びが湧いてくるように感じました。この大会は私たちだけでなく、



本当に多くのボランティアの皆さんの活動で成り立っています。奉仕活動によって、反って感動と勇気を与えられた素晴らしい一日でした。

LCとは少し離れますが、私の職場でも社会奉仕活動に参加しています。地域の清掃、交通安全、火災防止、植林などの活動や青少年スポーツ大会への支援などを行っています。企業のCSR活動の一環ではありますが、職場の同僚は忙しい仕事の合間を縫ってよく参加しており、参加体験は個人の奉仕の心の醸成に大いに役立っているものと確信します。もつと簡単に楽しい奉仕活動もあります。それは、私の職場の隣に「ゆずのき」という障害者を三十人以上も採用し運営しているレストランがあり、そこに行く



と、「食べることに、飲むことがボランティアです」と言われます。「へ、そうか」と頷き、それなら好きなビールや焼酎をどんどん飲んでいきます。最後のボランティアは少し邪道かもしれませんが、様々な奉仕活動に参加できる環境にある自分は恵まれているし、嬉しいと思っています。

私がライオンズクラブという団体の名前を知ったのは小学生の頃でした。小学校での運動会での優勝旗に『贈呈〇〇ライオンズクラブ』という文字が書いてあり、又、学校のあらゆる備品にライオンズクラブの名前と、マークがあつたのを覚えていきます。その当時はどんなクラブなのか？どんな方が寄付して下さったのかもわからず：ただあのライオンのマークが目には焼きついていました。そのライオンズクラブの存在を知ったのは今から三年前でした。小学生当時に見たあのライオンマークのバッジをつけた方をお見かけしてからです。ライオンズクラブの活動をお聞きしてどんなに衝撃を受けた事か：

私が開業して三年。色々な事を色々な業種の経営者の方にご指導、ご鞭撻して頂いていた中で：ボランティアという言葉はそれまで自分の中にはなかつたのですが、ライオンズクラブの活動内容を知りとても素晴らしい団体なのだと思銘致しました。

福岡赤坂ライオンズクラブ

LCに入会して

竹下 典子

四月には福岡赤坂ライオンズクラブ主催のチャリティゴルフ大会が開催されました。百名の方に参加して頂き無事終了、その中から寄付をさせて頂く事が出来た事をうれしく思います。又、先日はメンバーの方と福岡赤坂ライオンズクラブの姉妹クラブがある韓国へ行き、韓国の文化食事を楽しみながらメンバーの方との交流を深めてまいりました。

メンバーの方々にはまだ何もわからない私に色々ご指導を頂き、少しずつですがライオンズクラブがどういったものかという事がわかってきました。

まだまだ、力不足、知識不足でどの様にしていけばいいのか、自分に何が出来るのか模索中ですが、皆様のお力をお借り致しまして、社会貢献、自分自身のスキルアップに努力してゆく所存でございます。



ボランティアで子供達へMAGIC

PR委員長 L広庭 孝次



現在、一〇〇年に一度の大不況といわれる中、一体、自分が出来る中、何が出来るか？今後、どのような生き方をしていくのか？という事を自問自答しています。

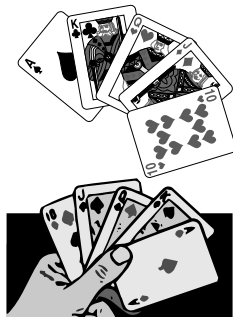
また、高齢化社会が加速する中、年金の問題、少子化問題など暗い話題ばかりのような気がします。

その中で、現在の構造の不況期社会をつくっての責任の中で、罪のない子供達まで巻き込んでいる現状があります。

福岡文化ライオンズクラブは、毎年福岡市の養護施設へクリスマスプレゼントを実施しています。そこで



私の特技であるコミュニケーションマジックのクラブにより子供達にボランティアでマジックショー



を仲間と一緒に披露しました。子供達は目をキラキラ輝かせ、タネを教えてあげると一生懸命練習してうまくなります。

今後、仲間で協力して子供達にマジックグッズもプレゼントしていきたいと思っています。

私の健康法

L牧園 雅充

「酒は飲めず煙草も吸わない」と言えば石部金吉を想像されるでしょうが、体質的にアルコール類は奈良漬でも駄目、夜眠れない時は睡眠薬代わりに養命酒を飲みます。煙草を吸うと痰がからみ扁桃腺が腫れるから吸わないだけで健康を考えて節制しているのではありません。家では盆と正月それに焼肉をした時に飲むくらいで晩酌はしません。唯一の楽しみは食べることで

す。しかも早食いで腹一杯食べないと気が済みません。飲めないけれど酒飲みが好きな刺身、肉が好き。妻も家計が助かると喜ぶますので仕事の帰りや土曜、日曜はスーパーストアに立ち寄り、食べたい物を買い込み料理してもらい食べるのが唯一の楽しみです。そういう生活を数十年続けていると体重は当然増え七十七kgになりました。減量しようと思いつきながら食欲に負け、ついに高血圧、高血糖、高脂肪、高コレステロールの危険水域を越え、このままだけは糖尿病になるから減量しないと医者に宣告されました。

七十kgを目標に減量開始し現在七十二kgになり数値もほぼ正常に戻りましたので気が緩み毎食ついっさい食べ過ぎてしまい、七十二kgから体重が減りません。食欲はあらゆる欲の原点です。後は己との戦いです。従来からサウナによく行き、毎日一回約一時間愛犬と散歩し公園の鉄棒で懸垂二十回、腕立て伏せを五十回します。

そして土、日曜日のいずれか週一回ゴルフをします。毎週ゴルフをしているのに、腕前は百前後、セン

スがないので上達しません。「今更プロになれる訳でもなし健康のために山歩きに来ている」とか「ゴルフと人生は思い通りに行かないし、やり直しが出来ない」と負け惜しみを言っています。

平日は家と事務所の往復が多いので足腰を鍛える為カートに乗らず歩きます。一ラウンド七〜八km歩き、その晩は熟睡できます。それでも基礎代謝の減少で体重は減りません。やはり食べる量を減らすしかありません。

さて自分の事ばかり書きましたが、平成二十一年七月から福岡大名ライオンズクラブの会長を拝命いたしました。百年に一度の大不況と言われる経済環境、会員減少は仕方ないと諦めていますか・・・？座して死を待つのではなく、兎に角 実践と言うことで執行部は若返りました。

当クラブは私、会長が現在六十歳、あと幹事、会計、第一副会長、一年理事、二年理事まで三十〜四十歳代です。執行部で五十歳以上は私一人です。会長経験者のベテランは顧問、相談役に就任を提案し、承認を頂きました。成果が上がらなければ振り子理論からいくとベテランの返り咲きになります。失敗は許されません・・・。

我々執行部及び理事一同は会長提言の「一人がLCを変える 一人からLCが変わる」を合言葉に一年後良い報告が出来るよう頑張ります。宜しくお願ひ申し上げます。

福岡平和ライオンズクラブ

入会一年を迎えて

ライオンズクラブに入会して一年を迎えて **中林 秀雄**



昨年二月より福岡平和ライオンズに入会させていたが、多くのアクト

に参加させて頂きました。

中でも勉強になり、これからもっと力を注いでいきたいと感じているのが「街頭献血活動」です。

活動に参加する以前の私は、献血といえば自動車の試験場などの印象が強く、交通事故の被害者の緊急手術向けの必要性は理解しておりまし

『三十八歳からのアクティビティ』

行徳 康弘



「今度、俺が会長をすることにしたら入会しない？」

「分かりました、頑張ります・・・」

二つ返事で入会して早一年が過ぎました。今までの人生三十八年間、社会奉仕活動とはほぼ無縁だった私がライオンズ???

二十八歳で今の会社を設立して、ただ我武者羅に仕事に専念してきた十年間、会社の利益と社員を食へさせる事ばかり考えて正直、奉仕精神の「ほ」の字もありませんでした。

この一年間を振り返ると、例会を中心に様々な活動を通じて、大切なことを沢山学ばせてもらったと思います。一番印象に残ったのは、盲導犬募

たが、白血病や心臓手術などでの必要性は全く考えておりませんでした。

実際に献血の必要性や意義を覚えたのは、委員会にて二回の勉強会に参加し、若年性白血病の子供達の闘病記録を見たり、若い学生達が献血活動のボランティアとして努力する姿を目のあたりにしてからです。

ライオンやその家族だけでは、輸血が必要な患者全員を救うことはできません。

より多くの人々に、輸血が必要な患者の緊急性を訴え、これからも努力していきたいと思えます。

金活動の時の事です。

声を張り上げて何度も募金協力をお願いしても立ち止まってもくれない、空っぽの募金箱がただ肩からぶらりと下がり空しく揺れていました。

『俺もそうだったよな・・・』と半分諦めた瞬間「ハイ！目の前にまた十代であるう青年が募金してくれた。嬉しかった！」

あの時、空っぽの募金箱に響いた「カラン」という音が私にとつてのアクティビティの始まりの合図だったと思っています。

人の小さな優しさや思いやりが集まって人を助けると言う初心の気づきを大切に、これからライオンズ活動を頑張っていきたいと思っています。

福岡黎明ライオンズクラブ

「最近ライオンズクラブに想うこと」

井上 福男

「ダ・ビンチ・コード」、鑑賞された方も多いと思うが、このストーリーはキリスト教の歴史の中に隠された異宗派のミステリー、最新新作がリリースされた、「天使と悪魔」物語は十六世紀キリスト教、宗教改革により粛清された科学者たちの復讐劇、それに呪われた枢機卿の誘拐、そして精巧にプロگرامされつぎつぎに起こる誘拐された枢機卿の殺人。事件解決に向け依頼された、トム・ハンクス演ずる宗教象徴学者ロバート・グラントン教授。スリル、サスペンスの連続だそうです。本を読むか映画を観るか思案中。

さて、二十世紀初頭、キリスト教の精神にも似た、社会への奉仕団体を呼びかけ、そして一九一七年アメリカ、シカゴにおいてメルビン・ジョーンズにより結成されたライオンズクラブ。あと数年で百年を迎えるであろう、日本では一九五二年東京で結成され今日、世界で有数のライオンズクラブ大国になった。

ただこの数年前から会員の減少、高齢化更に昨年サブプライムローン

事件から誘発したリーマンの破綻に始まった世界同時不況、あらゆる産業に及び特に日本は百年に一度の大不況に陥っている。今日ライオンズクラブの抱える問題とは、会員の減少、高齢化、不況、ライオンズムの低下（私だけか？）更にエトセトラ、年数を重ねるごとに悩める問題は増えるだろう。（原点に戻って見直す）一九一七年、一九五二年この高邁な精神をもち創った草創の先人の夢と行動力を今日の会員全てが持ち中興の意志を強く抱くこと、キリスト教がAC以来世界中の人に愛と勇気と英知信仰を広めた様に、ライオンズクラブも世界の平和を目指し受け継がなければならぬと思う、そのためのもう一歩前に前進。

「歴史は繰り返す」、ライオンズクラブもはるか数百年後、シカゴ、東京、福岡を舞台に壮大なスケールで映画になるかな「天使と悪魔」のように。



会長になれるのか？

石川浩二郎

二か月ほど前、次年度役員選考委員会「会長」役の話がありました。

従来参加が不十分であることを承知している。「名目と実績が伴わない」のではないかと心配しています。しかし高校の大先輩の訓話に基づこう、と考え直して「はい」と返事をしました。師は「世の中にはしたくても、してはならない事があり、したく無くても、せねばならない事が有る」と我々後輩に訓示されました。

まず会長提言が問題です。相当考えましたが良いフレーズが出なくて二・三の言葉を「次期準備理事会」の席上皆様に相談して「汗と知恵を友愛で」とさせて頂くこととしました。私は「奉仕活動には見返りを求めてはならない」と思っています。しかし人間ですから時々この考えを忘れがちになります。私は幸福な人生を送りたいと願っています、常に五項目を思っています。

- 一、まず健康であること
- 二、感謝の心を持てるように
- 三、人間関係が良いように

四、朝、起きてなすべき事があること
五、お金はそこそこに有ること

私の知人の一人に資産持ちのAさんが居られますが、ご家族の人間関係が良い状態ではなくて、私に相談をされますが、良いアドバイスができません。環境が違うので幸福五項を話しても難しいのです。また私は素晴らしい方を沢山知っています、その方の生き方、考え方を真似している所が多いと思っています。勿論わがクラブ先輩会員にも見習いたい方々がいいますので、私が素直についていく事に致します。それが私のカラーとさせていただければ幸いです。普段ボーツとしている私です。「汗をかいて働き、知恵を出して生かす。その上で暖かい心と態度で活動する」と私自身に「会長提言」を言い聞かせつつ会長になれるよう心がけて、この一年が充実の年になるよう、努力したいと思っています。



消防自動車贈呈「両国のきずな願い」

会長 L佐道 完之

粕屋町第七分団に配備されていた消防自動車が使用開始から二十年が経過し、新車と交代することとなりましたが、走行距離は九千キロとまだ活用できることから、フィリピン政府観光局と交流がある会員よりフィリピン（ルソン地方）ブラカン州メイカワヤン市に消防自動車を寄贈しようとの提案を受け、早速プロジェクトチームを編成し、その実現へと進み出しました。

が、なにせ初めての事業なので右往左往しながら、やつとの思いで四ヶ月近くを費やし、二〇〇九年三月十九日現地での贈呈式出席の為マニラに向かい、翌三月二〇日メイカワヤン市庁舎にての贈呈式では、メイカワヤン市の関係の方々や、メイカワヤン・ラポーンライオンズクラブの方々から、大歓迎を受けました。

またまた防災・防火設備が十分でないフィリピンの国に、粕屋町の消防自動車が新たな



活動の場を広げ、その国の人々へ必ずや役立つことと、両国の友好に繋がるものと信じ、また、今回の事業を通じて学んだことを、今後のクラブの活動にも活かして続けて行ければと思います。

ただ、今は無事に寄贈することができて、肩の荷をおろしたところだ

彦岐ライオンズクラブ

彦岐ライオンズクラブの行方は、『それでも頑張りたい!!』

末永 孝好



一九八〇年九月に入会しまして、早や二十九年が経過し

ようとしています。

当初会計を拝命しましたが、事務局さんがいなくて、彦岐LCすべての事務帳簿を二年ほど自分で記載した事、会員を喜ばせようと納涼例会、家族例会などでゲーム大会を工夫した計画委員長時代、又十周年、十五周年、二十周年と当時の6Rの皆様に、ご迷惑やら、喜んでいただいたりした時の事、そして北九州に一年間通った、地区PR委員の時の事などが走馬灯のように、甦って参ります。そして、このたび二〇〇九年〜二〇一〇年の最後には三十周年を迎えます。

しかし今の彦岐LCは十五名の弱小LCで、特に資金獲得事業もなく、2Rの会議や各委員会も、必要最小限の出席に止めるなど、何かと経費節減に努



彦岐の観光スポット『猿岩』

めていますが、とても厳しい運営状況です。

2Rのリジョンチェアパーソンを始め、各委員会の皆様には、多大なご迷惑をおかけして大変申し訳なく思っています。しかしながら、消えゆく彦岐LCとならない為にも『ウィーサーブ』の精神で、地域に根差した魅力あるクラブづくりを目指し、私達は頑張っています。

2Rの皆様の暖かい御支援を、よろしくお願い申し上げます。

花鶴福岡ライオンズクラブ

青少年健全育成支援 第三十一回ライオンズ旗争奪少年剣道大会

事業委員長 伊東 政文

四月二十九日剣道大会が2R4Z内及び福岡市東部より六十八チームの参加を得て開催されました。

今までは玄洋福岡ライオンズクラブとの隔年主催だったのが、玄洋福岡ライオンズクラブの解散に伴い単独主催となり、会場も古賀市内の「クロスパルこが」に変更し、新しくスタートしました。

この大会は長い歴史と伝統のある大会なので剣道協会、保護者からの継続の要望があり、今回の単独開催となりました。クラブとして支援ができるのか、検討し、かなり無駄を省いた大会なら開催できると承認いただき実行した結果、青少年の健全な心身育成に大きな役割を果たせたと確信いたしました。会場の変更で何度も宗像

第31回
ライオンズ旗争奪少年剣道大会

日時 平成21年4月29日 (金・祝) 9時30分開会式
午前10時00分 観戦式
会場 古賀市健康文化施設 クロスパルこが
主催 花鶴福岡ライオンズクラブ
主管 (株)福岡風剣道連盟宗像支部
古賀市剣道協会 新宮町剣道会
後援 古賀市教育委員会



新宮、古賀の剣道協会の役員の方と打ち合せを行い、無事に盛会のうちを終了する事ができました。これも剣道協会、保護者の方そして我がクラブのライオンの方のおかげと御礼申し上げます。最後に我がクラブの事務局野中さんのテキパキした事務処理に感謝します。

「ライオンズが造る安全社会」

L 白木 源治朗



ライオンズ
クラブに入会
させて頂いた
最大の動機は、
世界最大の奉

仕団体としてのライオンズであるか
らではなく、LIONSの、ONSの
の理念(我々の国の安全を図る)に共
感したからであります。安全・安心
な社会の土台を成すのは、LION
Sの思想そのものであります。

昨今、安全神話が崩壊し、悲しい
事件・事故の多発は、我々の日常生
活を怯えさせるものから、果てまで
日々のビジネスを始めとする商取引
の安全を損なうものまでに至り、
人々は疑心暗鬼になってしまおうとい
う負の連鎖が生じてしまっておりま
す。だからといって警官の増員を
計ったところで、検挙率は向上する
ものの、治安の安定や発生率の抑制
には直結する様子ではありません。
民間や自治体ではこぞって監視カメ
ラを導入することが、抑止力になる
と捉えられてますが、それは悲しい
結果論の行く末であることをイギリ

スが世界に発信しております。

例えば、当クラブが行っている
「青色灯パトロール」や「薬物乱用防
止教室」などは、決して短期間で効
果を期待するべき性質ではありません
んし、また即効性を帯びる活動とも
言い難いかも知れません。しかし継
続的な行動はやがて地域住民や青少
年の方々の賛同を長期的には獲得し、
市民社会の絶大な信頼という、何よ
り代え難い無形の結晶を産みます。

こういう時代だからこそ、せめて
土着した地域のことを自分の任務だ
と自覚し、そのためには自己の利益
をも犠牲にできるという意識が、今
もつとも求められていると想います。
最後にライオンズクラブの事業と
て、あくまでも事業なんですから、
失敗することもあれば大成功するこ
ともあるのですから、斬新な発想と
既存の枠組みを越えた活動展開を期
待したいと思えますし、又、私自身
も一助になる覚悟で努めたいと思
います。



一目で見るライオンズクラブ
ライオンズクラブ国際協会
337-A地区
ライオンズクラブ
分布図
2009.5.31集計

337-A地区会員数 集計表

リジョン	ゾーン	クラブ数	期首会員数	現在会員数	増減	現在平均会員数
1R		23	783名	810名	27	35.2名
2R		29	945名	916名	-29	31.5名
	1Z	8	289名	279名	-10	34.8名
	2Z	8	287名	277名	-10	34.6名
	3Z	8	230名	224名	-6	28.0名
	4Z	5	139名	136名	-3	27.2名
3R		19	1,050名	1,063名	13	55.9名
4R		25	956名	956名	0	38.2名
5R		22	1,003名	988名	-15	44.9名
合計		118	4,737名	4,733名	-4	40.1名

2R

Z	クラブ名	期首	5月末	増減
1Z	福岡西	39	38	-1
	福岡北	44	40	-4
	福岡大濠	29	27	-2
	福岡黒田	60	58	-2
	福岡桜	48	44	-4
2Z	福岡NOZ	30	35	5
	福岡博愛	14	12	-2
	福岡大樹	25	25	0
	福岡舞鶴	35	35	0
	福岡城東	52	52	0
	福岡玄海	57	57	0
	福岡誠	20	19	-1
	福岡シニア	24	23	-1
	福岡花	35	35	0
	福岡フィフティ	32	30	-2
3Z	福岡フレンズ	32	26	4
	福岡鶴城	41	42	1
	福岡筑前	41	32	-9
	福岡赤坂	20	20	0
	福岡文化	19	20	1
4Z	福岡大名	36	38	2
	福岡平和	20	22	2
	福岡黎明	25	26	1
	福岡ベイシティ21	28	24	-4
	若杉福岡	33	30	-3
合計		945	916	-29

1R

Z	クラブ名	期首	5月末	増減
1Z	北九州	26	41	15
	北九州中央	19	19	0
	北九州紫水	45	44	-1
2Z	北九州小笠原	19	22	3
	北九州小倉	94	91	-3
	北九州勝山足立	44	38	-6
	北九州小文字	43	44	1
	北九州シニア	31	30	-1
3Z	北九州小倉東	45	42	-3
	北九州門司	27	28	1
	北九州東	20	20	0
4Z	北九州門司みなと	29	32	3
	北九州ルネッサンス	13	13	0
	北九州戸畑	41	47	6
	北九州若松	24	22	-2
5Z	北九州高塔	18	22	4
	北九州洞海	21	19	-2
	遠賀	39	43	4
	北九州八幡	40	42	2
	北九州西	38	43	5
合計		783	810	27

3R

Z	クラブ名	期首	5月末	増減
1Z	直方	62	60	2
	中間	68	68	0
	宮若	40	49	9
	鞍手	28	28	0
2Z	行橋	64	66	2
	田川	136	143	7
	豊前	55	55	0
	川崎福岡	33	33	0
	下田川	34	34	0
3Z	苅田	54	54	0
	山田	37	34	-3
	飯塚	124	123	-1
	稲築	36	35	-1
	嘉穂	55	60	5
	穂波	73	72	-1
	桂川	28	27	-1
	筑穂	32	33	1
合計		1,050	1,063	13

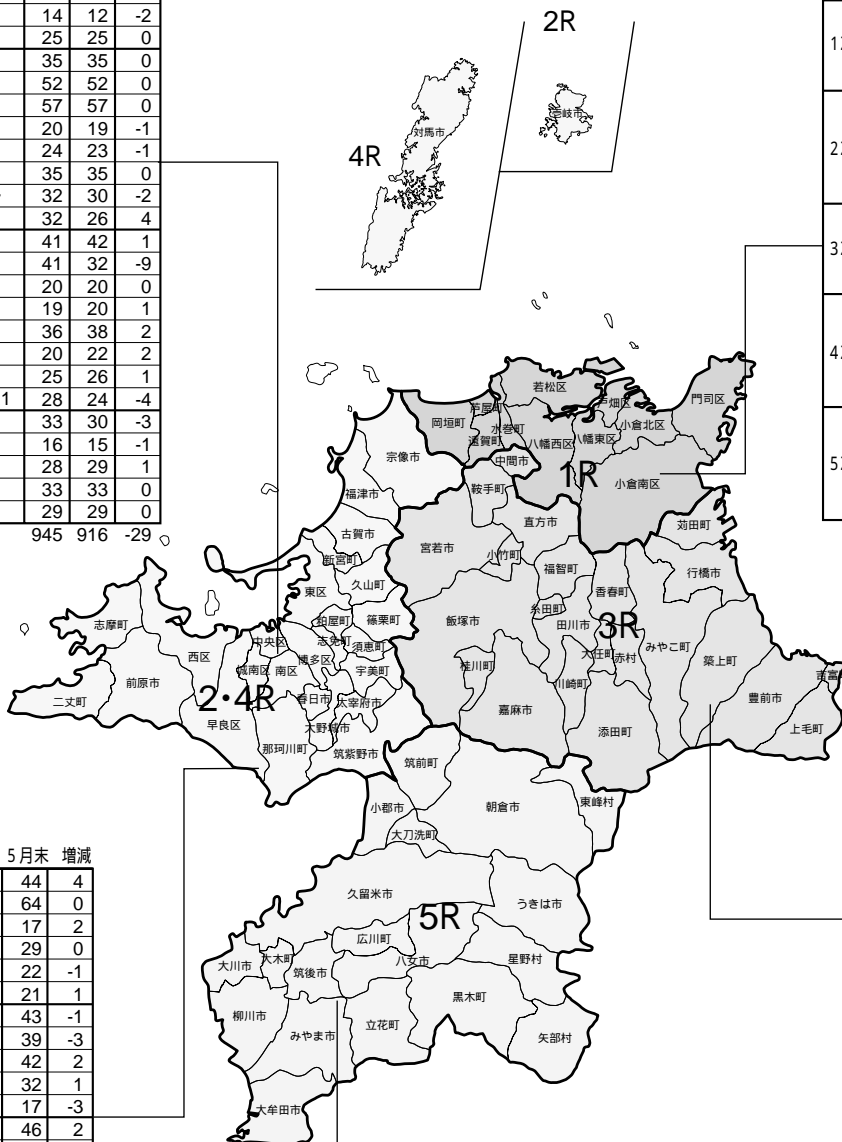
4R

Z	クラブ名	期首	5月末	増減
1Z	福岡	40	44	4
	福岡第一	64	64	0
	福岡リパティ	15	17	2
	福岡くしだ	29	29	0
	福岡鴻臚館	23	22	-1
2Z	福岡城南	20	21	1
	福岡中央	44	43	-1
	福岡南	42	39	-3
	福岡ふよう	40	42	2
	福岡天神	31	32	1
3Z	博多リパティ	20	17	-3
	福岡博多	44	46	2
	福岡博多東	47	45	-2
	福岡博多中	30	34	4
	福岡那の津	69	71	2
4Z	福岡イースト	22	28	4
	福岡博多シティ	31	29	-2
	福岡那の香	31	29	-2
	つくし	49	47	-2
	つしま	30	29	-1
合計		956	956	0

5R

Z	クラブ名	期首	5月末	増減
1Z	久留米	34	37	3
	甘木	66	68	2
	浮羽	32	32	0
	久留米りんどう	59	56	-3
	浮羽みのう	31	34	3
2Z	久留米有馬	61	59	-2
	八女	76	72	-4
	黒木	28	27	-1
	久留米中央	36	36	0
	小郡	51	51	0
合計		1,003	988	-15

Z	クラブ名	期首	5月末	増減
3Z	大牟田	48	46	-2
	瀬高	43	40	-3
	大牟田中央	50	53	3
	大牟田三池	42	39	-3
4Z	大牟田不知火	32	31	-1
	柳川	65	65	0
	筑後	54	50	-4
	大川	50	51	1
合計		1,003	988	-15



- ◆充分に変革されていると思います。この路線を来期もお願いいたします。座談会「今後のライオンズの問題点」の中で少々過激な発言(ガバナー選出方法)がありました。これらの発言は、もう少しライオンズらしい言葉で発言していただきたいものです。もう少しスマートに!!
- ◆今後誌面に目を通すよう心掛けます。
- ◆読み応えのあるライオン誌になったと思います。PR委員長のかんりの頑張りが見えます。益々良いものにされるよう期待します。
- ◆Q6 個人負担をする必要はありません。予算の範囲で工夫する。あいさつ(巻頭言のことか?)やPR(クラブ担当広告のことか?)等ライオンズ活動以外の事はなるべく避けるような指導をしてください。
- ◆単一クラブの運営活動が基本的に重要で、リジョンはそれをサポートする理念とノウハウを、年間を通じて実行してください。「ふくおか2R」の使命に期待する所です。
- ◆Q5 効果があるとは思えない。広告は各人負担と思われ、頼まれた人はドネーションと見て付き合っているようです。将来は会員の広告費負担は無くして発行するのが望ましいと思います。どうしても必要な場合はノンライオンからの広告をお願いしては…
- ◆今期の変革については素晴らしいと思います。Q4・5・6のアンケートでの負担増額については、PR委員会の内情が把握出来ないと感じています。
- ◆来期以降も、この変革の流れを継続して欲しいです。
- ◆一年間読ませていただき、いろいろと勉強になりました。PR委員・スタッフの方々に大変感謝いたしております。
- ◆リジョン誌負担金については、皆さんの決定に従います。
- ◆Q5 広告料ではない新しい形を…
- ◆Q5 安易な広告料というのではなく、抜本的な検討が必要と思う。
- ◆リジョン誌の発行を継続するかも考える必要があるのではないのでしょうか?
- ◆今期のリジョン誌は大変素晴らしいと思います。
- ◆ご苦労様です。
- ◆だんだん楽しい内容になってきて、読みやすくなりました。
- ◆担当の委員はご苦労様ですが、委員会の模様を地区役員と各クラブに知らせていただきながら、問題を共有した方が改革が進むと考えますが…
- ◆ライオンズに入会したばかりで、まだ色々わかりません。これから勉強させていただきますので、宜しくお願いいたします。
- ◆今後ライオンズ会員の減りが予測される中、経費の内容の見直しの必要を感じております。
- ◆回答欄で「どちらともつかない」の意義がありますか?
- ◆お金を出す事も必要かと思いますが、アメリカ等のように会員の方が体を使っての清掃活動、子供達(親が居る居ないに関わらず)との食事(屋外)パーティ等々「お金」を使わない方法も考えて行っているかどうか?
- ◆PR委員長頑張ってください。
- ◆今年度の変化も継続している内にマンネリ化していくと思います。常に今のライオンズと先のライオンズを考えた変革が望ましいと思います。年4回の発行が良いのか含めて考えていく必要もあると思います。PR委員会も編集長→第一副編集長→第二副編集長というように引き継いで行くシステムも一考の価値があると思います。単発ではもったいないと思います。
- ◆特集「ライオンズの歴史を知る」は、大変興味のあるものでした。何か皆さんスケールの大きさを感じさせる人達で、現在のライオンズと比べると淋しくなります。知らない事ばかりでよくここまで取材されましたね。次号を楽しみにしています。
- ◆日々改革を目指し努力される事が良い企画となり、新鮮な誌面になっていると思います。PR各担当者の努力に心から感謝いたしております。私生活を犠牲にしてまで努力されている姿を、私は知っている一人です。

※ご意見をいただきました皆様ありがとうございました。



アンケートを集計するクラブPR委員長の皆さん



↑ ↓ 「交流ひろば」の文字校正には余念がありません



左より、次期当番委員長L.伊藤、次期PR委員L.西川、現PR委員L.徳永



天神テルラで開催された「新旧PR委員会引継会」

第4回アンケート回答実績

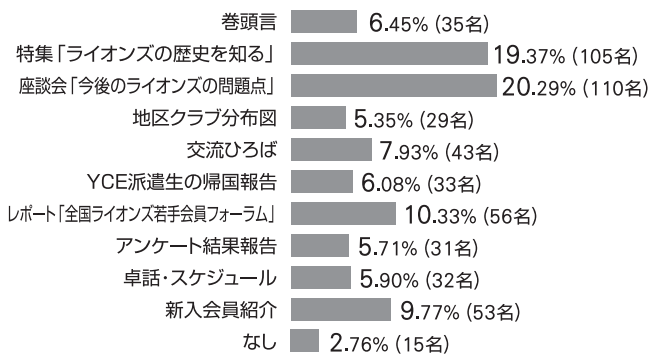
回答提出25クラブ、824名 有効回答 215名、回答率 26.09%
アンケート回収率が50%以上のクラブ

壹岐LC 60% 福岡大濠LC 55% 福岡文化LC 55%

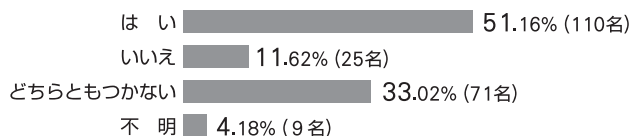
*アンケートにお答えいただきました皆様、一年間ありがとうございました。

1,000名 アンケート 意識調査 結果報告

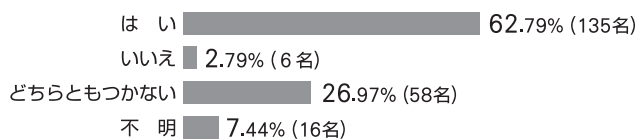
Q1 「ふくおか2R春号（4月1日号）」で注目したコーナーがあれば選択してください。（複数解答可）



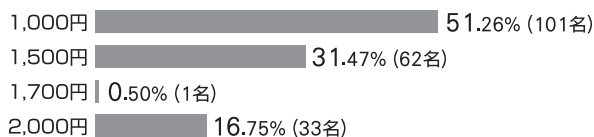
Q2 「ふくおか2R冬（元旦）号」で『平成の2R 国際・日本・複合・準地区役員/委員総覧』を付録としましたが、今後も数年おきにこのようなものを発行した方が良いでしょうか？



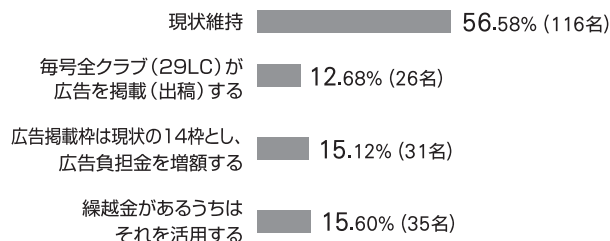
Q3 あなたは今期リジョン合同誌「ふくおか2R」の変革に賛同されますか？



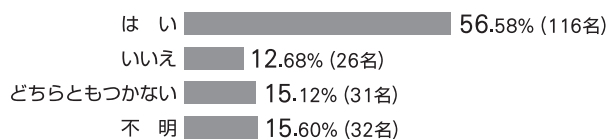
Q4 「ふくおか2R」を現在の形態のまま継続した場合、読み応えのある誌面を提供するためには過去の繰越金約100万円を切りくずさなくてはなりません。しかし繰越金にも限界があります。更なる誌面の活性化のため、現在の、会員一人当たり年間1,000円の負担金に対し増額をお願いした場合、あなたが承認できる金額の上限を下記より選択してください。



Q5 Q4と同じ内容ですが、毎号クラブを代表する会員が出稿する広告は現在1回の発行につき14枠/14LC掲載（全クラブローテーション）で、1枠あたり5,000円の広告料を負担していただいています。今後は年4回の発行に対して、毎号2R全29LCより5,000円の広告を掲載していただくか、または現在のまま1回に14LCの掲載として広告料金を1枠10,000円に増額できれば「ふくおか2R」の運営も安定すると思うのですが、今後の指針として妥当と思われるものを選択してください。



Q6 あなたは、「交流ひろば」への原稿出稿や広告掲載がクラブPR委員長の個人負担に偏っていると感じますか？



Q7 今期「ふくおか2R」の変革について、ご意見・ご要望（企画）・ご批判等ありましたらお願いします。

- ◆今期2R誌は、これ迄にたく充実していたと思われる。ご尽力されている各委員さんに頭が下がります。しかし、後に続かれる委員さん大変でしょうね…頑張ってください。
- ◆Q4には「値上げしない(現状のまま)」がありません。
- ◆いろいろ考えて最良の結果を出してください。
- ◆地区大会の参加が少ない。当クラブでは、本日の例会は全員参加する事になりました。
- ◆一年間で苦労様でした。来期がどのような誌面になるのか楽しみです。
- ◆現在は転籍したばかりで意見を言える段階ではありません。とにかく半年間私なりに参加しながら意見をまとめたいと思います。
- ◆変革に対してベテラン・中堅・若手の混成で討論の場を設けて頂きたい。このままで行けば、ライオンズの衰退に歯止めはかからない。選別願います。

※詳細は各クラブ事務局まで
お問い合わせ下さい。

金 FRIDAY	土 SATURDAY
3	4
10	11
17	18
24	25
31	1
7	8
14	15
21	22
28	29
4	5
11	12
18	19
25	26

お便りの会第134号製本作業
(於:ふくふくプラザ)/福岡筑前

夏越祭り(笠崎宮)
チャリティ出店/福岡黎明

壱岐市ジュニアバレーボール大会
/壱岐

壱岐市小学生ソフトボール大会
/壱岐

24時間テレビ31~愛は地球を救う~
「募金活動」(於:トリアス久山)
/若杉福岡

卓話ゲスト紹介

3月

福岡NOZ 卓話・題名
ゲストスピーカー しいのみ学園 園長 昇地三郎 先生

福岡大樹 卓話・題名 インターネット、ホームページの活用術
ゲストスピーカー L.平井良明

卓話・題名 温泉の効能
ゲストスピーカー L.渡辺むつみ

福岡シニア 卓話・題名 子ども会とジュニアリーダーについて
ゲストスピーカー L.永井光清

福岡花 卓話・題名 「ひな祭りについて」
ゲストスピーカー L.浜田一昭

福岡鶴城 卓話・題名 日本の住まいについて
ゲストスピーカー (株)ミサワホーム総合研究所 取締役 栗原潤一 様

卓話・題名 アビスパ福岡ホームタウン推進活動について
ゲストスピーカー アビスパ福岡(株)ホームタウン推進部 部長 下田功 様

4月

福岡桜 卓話・題名 博多町と笠崎宮
ゲストスピーカー 笠崎宮 宮司 田村靖邦 様

福岡NOZ 卓話・題名 「助成金について」
ゲストスピーカー L.三嶋清忠

福岡大樹 卓話・題名 さくら咲く
ゲストスピーカー L.高崎久男

卓話・題名 くつる〜と地球一周
ゲストスピーカー L.酒井美代子

福岡玄海 卓話・題名 福岡の水問題と雨水対策による解決
ゲストスピーカー NPO法人南畑ダム貯水する会 理事長 山下輝和 様

福岡花 卓話・題名 「ボランティア活動」
ゲストスピーカー 礎精神医学研究所 所長 礎浩一 様

福岡鶴城 卓話・題名 “生物が生まれ育つ博多湾”の実現に向けて
ゲストスピーカー 福岡市環境局環境調整課 自然環境係長 満生美保 様

5月

福岡西 卓話・題名 地方分権と地方自治
ゲストスピーカー 福岡県議会議員 十中大雅 様

福岡北 卓話・題名 最新の台湾情報
ゲストスピーカー 台北駐福岡経済文化 所長 周碩穎 様

福岡大樹 卓話・題名 会員増強の方法
ゲストスピーカー L.ポボン柿本

福岡舞鶴 卓話・題名 「世界100万\$円卓会議」
ゲストスピーカー L.原節子

福岡玄海 卓話・題名 書の世界
ゲストスピーカー (有)大貴 宮本大輔 様

福岡花 卓話・題名 「本当に必要な保険とは・・・？」
ゲストスピーカー L.横井由美

福岡鶴城 卓話・題名 家庭用燃料電池・エネファームとW発電について
ゲストスピーカー 西部ガスリビング営業部 開発企画グループマイホーム発電プロジェクト 課長 筒丸博史 様



FUKUOKA 2R CLUB SCHEDULE

	日 SUNDAY	月 MONDAY	火 TUESDAY	水 WEDNESDAY	木 THURSDAY
7 J U L Y					引継ぎ例会/福岡鶴城
				1	2
	5	6	7	8	9
	12	13	14	15	16
	19	20	21	22	23
	26	27	28	29	30
	8 A U G U S T				700回記念例会 (於:サ・ルイガンズ福岡)/花鶴福岡
2		3	4	5	6
9		10	11	12	13
16		17	18	19	20
多々良川にシロウオを戻す会 支援ゴムボートレース (於:多々良川河川敷)/福岡誠		第1回2Rリジョン会 (15:00~西鉄グランドホテル)			
23		24	25	26	27
30		31	1	2	3
9 S E P T E M B E R					2R・4Zガバナー公式訪問 合同例会 (10:30~須恵町地域活性センター)
	6	7	8	9	10
	13	14	15	16	17
	20	21	22	23	24
	27	28	29	30	31

山笠奉納
(AM5:30~10:30 於:志免町)
/かすや南

委員会別例会(於:八仙閣)
/福岡西

700回記念例会
(於:サ・ルイガンズ福岡)/花鶴福岡

新宮町共催献血奉仕活動
/花鶴福岡

多々良川にシロウオを戻す会
支援ゴムボートレース
(於:多々良川河川敷)/福岡誠

第1回2Rリジョン会
(15:00~西鉄グランドホテル)

2R・4Zガバナー公式訪問
合同例会
(10:30~須恵町地域活性センター)

チャリティゴルフ大会
/福岡黒田

チャリティボウリング大会
/福岡博愛

2R・3Zガバナー公式訪問
合同例会
(11:00~グランド・ハイアット福岡)

新会員・各委員長研修会
例会(於:八仙閣)/福岡西

新入会員紹介 [3月・4月・5月]

福岡博愛LC



L
蘇そ

慶けい
(40)

(株)グローバル環境
[商社]
H21.5.13入会
スポンサー: L.和田 耕司
■自己PR

福岡城東LC



L
青木あおき

博幸ひろゆき
(43)

(株)A T
[遊技場設備・販売]
H21.5.14入会
スポンサー: L.山田 和男
■自己PR

今回入会させて頂き有難うございます。
これからは福岡城東LCの一員として色々な行事に携っていきたいと思います。
宜しくお願い致します。

福岡玄海LC



L
増本ますもと

徹雄てつお
(49)

オフィスネットワーク(株)
[不動産業]
H21.4.24入会
スポンサー: L.新木 猛
■自己PR

誠実だけが、取柄の男です。

福岡フィフティーLC



L
竹内たけうち

大平だいへい
(45)

(有)テイクビデオ
[映像製作]
H21.5.26入会
スポンサー: L.舩元 光二
■自己PR

L.舩元のご紹介でこの度、みなさんの一員に迎えて頂きましたテイクビデオの竹内と申します。先輩方に追いつく為にも先ずは早くライオンズ・ヒムを覚えたいです。

福岡大名LC



L
小畑おばた

憲一けんいち
(58)

郵便事業(株)福岡支店
[通信・郵便]
H21.5.7入会
スポンサー: L.岡野 暢徳
■自己PR

「やる気があればできる」をモットーとし、「死ぬまで生きる」を心情とし、謙虚さ感謝を忘れず、常に前に向かって進んで行く。「人間統一場理論」を完成させたい。

吉岐LC



L
久田ひさた

賢一けんいち
(58)

吉岐市役所
[副市長]
H21.4.1入会
スポンサー: L.本田 光利
■自己PR

よろしくお願ひします。

吉岐LC



L
村川むらかわ

耕造こうぞう
(60)

(有)村川石油
[石油製品販売業]
H21.4.1入会
スポンサー: L.末永満州男
■自己PR

よろしくお願ひします。





2Rでも屈指の“Mr.ライオンズ”
と賞賛されるL.中村洋人(福岡黒田
LC)とL.本多 弘(福岡鶴城LC)が、
メディアのプロを交えてライオンズ
を語った本誌は、今期最後の特集で
ある『明日のライオンズを考える』
に相応しい内容になったのではない
かと自負いたしております。様々な
資料を提供していただき、対談にも
心良く応じていただいた(株)電通九州
中曽根竜也部長と、九州朝日放送(株)
園田哲也部長にも合わせて感謝いた
します。

また「提言集」に於いては、日本
ライオンズ史上二人目の“国際会長”
が期待されるL.大野元裕(川口LC)と、
自他共に認める“クエストの伝道師”
であるL.清水直喜(敦賀みなとLC)には、
我々2Rの為に特別に原稿を書き下ろ
していただきまして、その友情(東京
若手フォーラムやライオンネットで
知遇を得ました)に心より感謝申し

上げる次第です。そして、福岡NO
Z LCからは三名のライオン(L.鹿島
紀夫、L.三嶋清忠、L.久芳恵子)が、
熱き想いを語っていただき、L.橋山
義博(福岡舞鶴LC)には、(提言も含
めて何から何まで)最後までお世話に
なりました。

次期はL.西川とも彥(福岡桜LC)
にバトンタッチするわけですが「名門
桜クラブ」の威信にかけて、もっと面
白い「変革」が期待出来るのではない
でしょうか。

編集後記もこれで最後なので、些
か自慢話めいたご報告になりますが、
今回本誌の「変革」によりL.橋山義博
と私に「国際会長感謝状」が授与され
ました。L.橋山がこれを受けられた
ことは、私の(受賞)以上に嬉しい
ことでした。さらに地区ガバナーL.
原吉徳より「ガバナー感謝状」及び「ガ
バナー貢献賞」も合わせて戴きました。
これも、インタビューや対談にご登

場頂きましたリーダーの方々、寄稿
された全てのライオン、激励してく
ださった多くの先輩ライオン、クラ
ブPR委員長の皆さん、合同事務局
の職員の方々、理解を示してくれた
社員や家族、そして最後に福岡大名
LCの仲間達に厚く御礼を申し上げ
たいと思います...これで皆さん心お
きなくホッとしてください(笑)

本誌を限りにようやく任務も終
りとなります。皆様方に勇気をいた
だきながら一年間無事に続けること
が出来ました。皆さん!!「LCはま
だまだ捨てたもんじゃないですよ」
素晴らしい出会いが限りなく広がる
組織です。愛するライオンズがこれ
からも栄光の歴史を刻むことを祈念
いたしまして筆を置きたいと思いま
した。

本当に一年間ありがとうございました。

2R・3Z 福岡大名ライオンズクラブ

PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎

発行 / 2R・PR委員会 TEL 092-771-5783 FAX 092-771-9676
〒810-0001 福岡市中央区天神3-15-24 三天第一ビル3F(ライオンズクラブ2R合同事務局)

印刷 / 末松印刷株式会社 TEL 092-411-6131 FAX 092-411-6134 E-mail s-pri.co@ymt.bbiq.jp
〒812-0892 福岡市博多区東那珂2-4-36

世界のビールが楽しめる
夢の居酒屋
けんた
倶楽部

美味しい生活と
夢のブランド
けんた倶楽部
TEL 474-7886
株式会社 ケンタワールド
福岡北ライオンズクラブ L.原 勝

営業時間
・ランチタイム 11:30~14:30
・ナイトタイム 17:00~深夜1:00
定休日 日曜日

〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-2-7

生バンド演奏でショーを見て 踊って歌って

ショークラブ
じゅらく 福岡市博多区中洲4丁目6-10 大洋ビル3F
TEL 092-271-3333

カラオケパブ
ホース 福岡市博多区中洲4丁目6-10 大洋ビル4F
TEL 092-262-2449

築島弘子(福岡大濠ライオンズクラブ)

田中税理士事務所

税理士 田中 雅美 (福岡黒田LC)

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴3丁目2番5号(アイビル4階)

TEL (092)712-4799 FAX (092)771-3719

E-mail mztanaka@io.ocn.ne.jp



心づくしのおもてなし

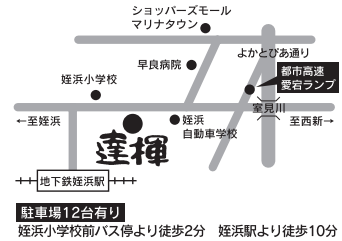
鮎 達 揮
たつき

児嶋 美希子(福岡桜LC)

〒8190-0002 福岡市西区姪浜1丁目13-28

☎092-881-1223(代)

http: www.sushi-tatsuki.com/



笑顔が溢れる毎日に

やまだ農園本舗

☎0120-365-333 <http://yamadakun.net>

Annex inc. 株式会社 アネックス 代表取締役 奥村 剛広
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-27-25 TEL.092(436)7333 FAX.092(436)7331



みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

Aflac アフラック
(アメリカンファミリー生命保険会社)

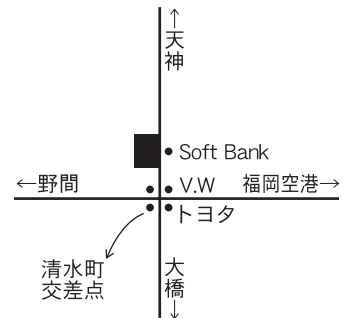
募集代理店 (株)アンシン商会

金森克己(福岡博愛LC)

〒815-0037 福岡市南区玉川町1-22

TEL 092-512-2020(代) FAX 092-512-1486

☎0120-5432-99



福岡大樹ライオンズクラブ

〒814-0001

福岡市早良区百道浜2丁目1-22 福岡SRPセンタービル302-E

ビジネス総研(株)内

TEL: 092-404-1151 FAX: 092-404-1152

E-mail: kuma@b-souken.com

URL: <http://lions337a.comlog.jp/taiju/>

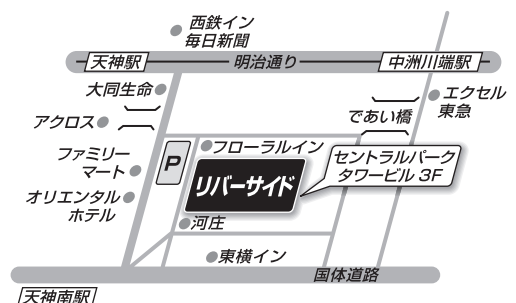


西中洲リバーサイド倶楽部

島田光子 (福岡舞鶴LC)

パーティのご予約承ります!

〒810-0002 福岡市中央区西中洲5-15 セントラルパーク タワー3F
TEL092-771-3006 FAX092-771-3034





快適生活をサポートする

私達は自然との調和を考えた環境にやさしい商品
サービスを提供する快適生活支援業です。

<http://www.rental-maruya.com>

株式会社 丸屋
代表取締役社長 原 康一。(福岡城東LC)

福岡支店 福岡県春日市昇町3丁目164番地
TEL(092)584-1911 FAX(092)584-1915

リース事業部 (寝具レンタル&リース・ふとん丸洗い)
福祉用具貸与事業部 (福祉用具レンタル・福祉用具販売)
アクアクラ事業部 (ミネラルウォーター販売・宅配)
ハウスクリーニング事業 (おそうじ本舗)

土曜・日曜
祝日も診療

犬、猫、オウム目、スズメ目の小鳥診察致します 東福岡ためま動物病院

診療時間 平 日 午前9:00~12:00
午後3:00~ 7:00
日曜・祝日 午前9:00~12:00
休 診 日 水曜日

院長 田沼淳一 (福岡玄海LC)
<http://www.geocities.jp/tanuma-vet/>
糟屋郡志免町志免中央4-11-17
TEL&FAX 092-937-3222

プリウスの御用命は当社へ!!



福岡トヨペット・三菱全車種特約販売店

信栄自動車株式会社

代表取締役 会長 堤田 智 (福岡誠LC)

本社 〒810-0071 福岡市中央区那の津5丁目4-18
TEL 092-751-4144 FAX 092-781-4637



337-A地区 2R・2Z 福岡シニアライオンズクラブ

会長提言:原点に立ち返り新たなる出発

事務局 〒812-0863 福岡市博多区金の隈3-2-47 永井光靖様方
TEL (092) 503-6027 FAX (092) 503-6084

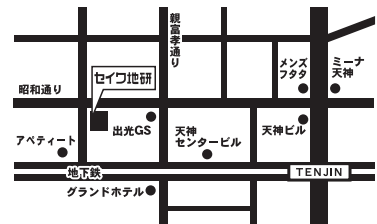


ビル企画 テナント募集 管理 不動産のコンサルタント

SEIWACHIKEN 株式会社 セイワ地研

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目8番17号 TEL (092)713-5600(代表) FAX (092)713-7375

次田 政子 (福岡花ライオンズクラブ)



ホームページの企画・提案・製作・運営



tap タップコミュニケーションズ
communications

〒812-0028 福岡市博多区須崎町11-18-102
TEL・FAX (092)271-5007 e-mail tap@tap-com.jp

<http://タップ.jp/> <http://www.tapcommunications.org/>

「二十一世紀を担う金の卵と言われるレオの未来は、決して明るいものではない
 会員増強以前の問題として、会員維持すらままならず
 日本最大と言われた我が地区も、衰退の道を選ばざるを得ない」

* 1986年度 335-C地区 レオ協議会議長 高橋亮二*

ライオンズクラブの会員減少警戒レベル How do you think ?

PHASE 1	地区の会員数に若干の変動はあるものの危惧するには至らない。	危機感未確認
PHASE 2	徐々に地区の会員が減少しているが一過性のものと認識する。	危機感希薄
PHASE 3	地区の会員減少が例年続くようになる。	危機感確認 危惧・憂慮
PHASE 4	長期に亘り(10年以上)地区の会員減少が慢性化して、歯止めがかからなくなる。	危険
PHASE 5	組織運営やアクティビティに支障を来している地区内単一クラブが全体の30%を超える。	高度に危険
PHASE 6	地区を超え、退会者が続出し、同時多発的に多くのクラブが消滅する。	パンデミック

* 本警戒レベル一覧表は、2R.PR・IT・ザラタ編集委員 L.徳永修一郎が作成いたしました。

「私は事に当りて“損得よりも善悪を優先して”物事を決断してきた」

* 2008-2009 337-A地区 地区ガバナー L.原 吉徳*